

★「高企連携」News & Topics	
北海道	主体性尊重 etc. 2
東北	「感動・満足」を提供 etc. 3
関東・首都圏	7段階の「階級制度」 etc. 7
東海・北陸	寄宿舎「豊心寮」 etc. 8
近畿・中国・四国	電子部品加工企業 etc. 9
九州・沖縄	DAIKO水車プロジェクト etc. 11
グローバル	ベトナムリポート vol.7 12

高等学校版

支援 & 就職ジャーナル

高校の先生方との連携による紙面編集

「キャリア&就職支援ジャーナル[高等学校版]」は高校の先生方と民間企業・行政機関、および大学・短期大学・専門学校等をつなげるフリーペーパーです。Career & Job-hunting-activities Times for High School teachers [通巻第69号]

今春3月の高校新規卒業者の就職率は98.0%、希望者のほぼ全員が就職

文部科学省は5月23日、「令和7年3月新規高等学校卒業者の就職状況(令和7年3月末現在)」に関する調査の結果を公表した。調査結果からは、今春3月に高校を卒業した就職希望者の就職環境が昨年に引き続き良好だったことがうかがえる。国内主要産業で深刻化する人手不足を背景に、この傾向はもうしばらく続きそうだ。7月1日の求人票公開を控え、令和7年3月高校新卒者の就職状況を振り返りつつ、8年新卒者の採用環境・就職市場を展望する。

高校新規卒業者は93万6,136人
うち就職希望者は12万8,914人

文部科学省は5月23日、「令和7年3月新規高等学校卒業者の就職状況(令和7年3月末現在)」に関する調査の結果を明らかにした。これは、国・公・私立の高等学校および中等教育学校(全日制・定時制)における令和7年3月の卒業生で就職希望の者全員を対象とする悉皆調査だ。

発表によると、令和7年3月の卒業生93万6,136人(対前年同期比1万797人増)のうち、就職希望者は12万8,914人(同993人減)。うち就職者は12万6,316人(同950人減)で、就職希望者に占める就職者の割合は98.0%(増減なし)だった。

●男子・女子別就職状況

男子の新規高校卒業者47万7,052人(同6,657人増)のうち、就職希望者は8万2,047人(同13人減)で、卒業者に占める就職希望者の割合は17.2%(同0.2%減)だった。このうち、就職者は8万723人(同24人減)で、就職希望者に占める就職者の割合は98.4%(増減なし)だった。

女子は、新規高校卒業者45万9,084人(同4,140人増)のうち、就職希望者に関しては4万6,867人(同980人減)で、卒業者に占める就職希望者の割合は10.2%(同0.3%減)だった。このうち、就職者は4万5,593人(同926人減)で、就職希望者に占める就職者の割合は97.3%(同0.1%増)だった。

就職者の実数は男子のほうが女子よりも1.8倍多く、就職率においては男子が1.1%高い結果となった。男子のほうが女子よりも就職者数も多く、男子のほうがわずかに女子よりも就職率が高いこうした傾向は、「政府統計の総合窓口」で公表されている「高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況に関する調査」の直近20年間分を見ても一貫しており、高校新卒者の就職状況の特徴の一つと言えるだろう。

●出身学科別就職状況

学科別に見た就職率が最も高かったのは「工業」で99.4%だった。以下、「水産」98.9%、「看護」と「商業」が共に98.8%、「福祉」と「農業」が共に98.6%、「情報」98.5%、「総合学科」97.8%、「家庭」97.3%、「普通」96.2%と続いた。

「工業」を筆頭に専門学科のほうが、各教科を幅広く学ぶ普通科よりも就職率



表1 令和7年3月高等学校卒業者の就職状況(学科別)

学科名	卒業者数(A)	就職希望者数(B)	就職希望率(B/A)
普通	698,008人	42,133人	6.0%
農業	21,334人	10,226人	47.9%
工業	63,990人	40,435人	63.2%
商業	51,281人	17,382人	33.9%
水産	2,303人	1,307人	56.8%
家庭	10,303人	3,441人	33.4%
看護(3年課程3年次)	878人	53人	6.0%
看護(5年課程3年次)	3,040人	39人	1.3%
看護(5年課程5年次)	3,166人	3,019人	95.4%
情報	1,100人	274人	24.9%
福祉	2,112人	909人	43.0%
その他	33,663人	1,524人	4.5%
総合学科	48,124人	11,191人	23.3%
計	936,136人	128,914人	13.8%

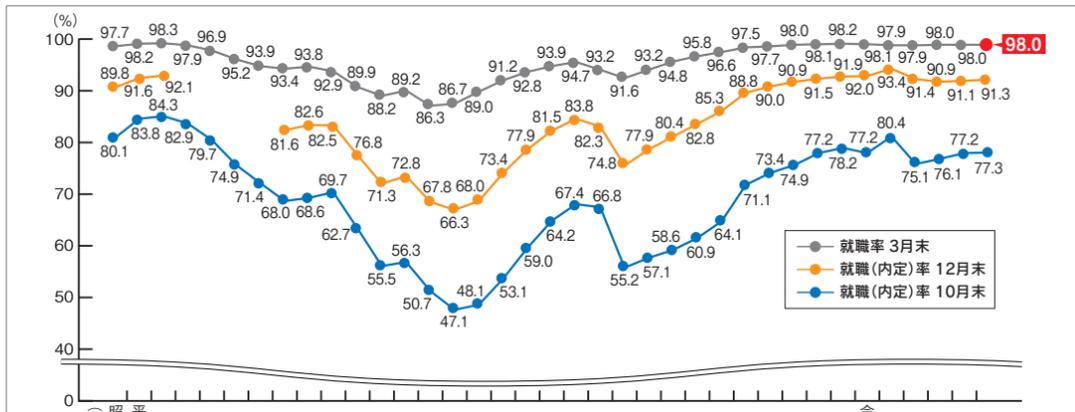
*看護(5年課程5年次)は、高等学校卒業生ではないため集計からは除いている。
(資料:文部科学省「令和7年3月新規高等学校卒業者の就職状況(令和7年3月末現在)」に関する調査)

が高いことが見て取れる。ただし、この学科別の就職率に関しては、一定の留意が必要だ。それというのも、普通科のカリキュラムは多くの場合、進学を意識して編成されていることが少なくないからだ。卒業者に占める「大学進学者」の割合が高い普通科では、相対的に少ない「就職希望者」に対し、学校として充実した就職支援体制を取ることが必ずしも万全であるとは限らないため、結果として、ここで見たような普通科の相対的に低い就職率につながっているおそれが否定できない。

就職希望率は、表1に掲げる通りだが、例えば、「工業」は63.2%、「水産」は

56.8%、「農業」は47.9%ということからも分かるように、これらの学科で学ぶ生徒の多くが大学進学ではなく高校入学当初から就職を目指している可能性が高いことが容易に類推できる。これは文科省の別資料だが、『令和6年度学校基本調査(確定値)』によれば、専門学科卒業者の進路の特徴として、圧倒的に「就職」が多く、これに「専門学校進学」と「大学等進学」が、拮抗するか、あるいはそれほど大きな差ではない程度に続いていることが分かっている。70%以上の生徒が「大学等進学」を果たし、13%前後が「専門学校進

■図1 新規高等学校卒業(予定)者の就職(内定)状況



*1 平成22年度卒業生の平成23年3月末現在の就職状況については、東日本大震災の影響により調査が困難とする岩手県の5校および福島県の5校は、調査から除外。
*2 平成3年度から平成6年度の4年間については、都道府県等の事務負担軽減を図るため年3回の調査を年2回として実施。
*3 令和2年度調査については、新型コロナウイルス感染症の影響により選考開始日等を1カ月後ろ倒ししたため、11月末現在と1月末現在の数値となっている。
(資料:文部科学省「令和7年3月高等学校卒業者の就職状況(令和7年3月末現在)」)

4面に続く

就職を目指す高校生のみなさんへ **最新刊 5月発行**

進路のてびき 2026 就職活動スタート号

就職・公務員編

準備編 就職する前に知っておこう!
実践編 「就職活動」に備えるために
公務員編 社会に奉仕する公務員への道

優良&堅実経営

業界&企業研究のための最新情報!!

就職活動の気になるギモンを徹底解消!!

就職情報 入手のための

「高校新卒者」を積極的に採用・育成している個別優良企業の紹介と共に、日本の産業社会のアウトラインも解説! 就職指導ご担当教員の方、必携の一冊です。

お問い合わせ 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

北海道 主体性尊重の進路支援

北海道経済同友会 人手不足への構え



札幌新陽高等学校 自ら手にする人生の「コンパス」 焦らず待つ姿勢が「針路」を引き寄せる

「自主創造」の校訓のもと、生徒の主体性を尊重しながら時代に即した教育改革を進めてきた札幌新陽高等学校(札幌市、北村善春校長)。今年3月、単位制導入後初の卒業生を送り出した同校の進路指導部長・佐藤革馬教諭に、「自ら道を拓く力」を育む進路支援について話をうかがった。

●「自分だけの学び」を設計する

「生徒の数だけ学びがある」を基本理念に掲げる新陽高校では、単位制ならではの自由度が高い教育カリキュラムを編成している。特徴的なのが、出願時に選択する「コンパス」に沿って自らの学習をデザインできる点だ。ここでの「コンパス」とは、生徒の「学び方」を表すもの。1年次には、学力や進路目標に応じた四つのコンパスタイプ別に授業が実施され、興味のある分野や自分に向いている学び方を知るための時間が設けられている。

2年次以降は、目指す進路や興味に合わせて生徒が自身の時間割を組み立てる

ことが可能だ。3年間を通してコンパスを更新しながら進路を定める「旅のような学び」が展開されていることが、同校の特色の一つだと言えるだろう。

このような独自の学習スタイルは、生徒の進路選択にも影響を与えている。好きな学びを深めることができるという強みが表れた結果なのだろう。単位制1期生の中には、専門科目に特化した入試方式を活用して難関大学への合格を果たした生徒もいたという。

●決断を急がない進路支援

新陽高校が掲げる「自主創造」の精神は、進路支援の方針にも色濃く反映され

ている。佐藤教諭が考える進路支援の本質は、コンパスの「針路」のように、「生徒が自分の力で生きていくための指針を見つけること」だ。就職や進学は一つの結果でありゴールではないという観点から、卒業後の行き先を考える大切さを生徒に伝えているという。

そうした考えから、同校では「決断を急かさない進路支援」が重視されている。進路がすぐに決まらない生徒に対しても、教員が特定の進学先や就職先を押しつけることはない。むしろ、考える時間を確保することがより良い結果を導くとプラスに捉えられている。その姿勢は、生徒たちが着実に自分の進路を見出し、次のステップへと進んでいることから裏づけられていると言えるだろう。

●主体性を育む支援体制

主体性を重視する方針の同校が力を入れている進路支援の取り組みの一つが、インターンシップの見直しだ。令和5年に実施された際には、2年次の生徒全員が2日間の企業体験に参加したものの、希望通りの職場に行けないケースが多く、結果として「受け身の体験」に終わりがちなことが課題となっていた。

そこで現在は、生徒が自ら希望する企業に応募できる仕組みへの転換を進めている。会社紹介やインターンシップの受け入れ状況を掲載した企業情報誌の配付をはじめ、今後は求人票なども活用しながら、生徒の意思やタイミングを最大限に尊重する取り組みを拡充していく予定だ。

進路支援における教員のチーム体制も同校の大きな強みの一つだろう。進路相談を受けた際は、生徒や保護者との関わりを担う「メンター」が話を聞き、企業



進路指導部長 佐藤 革馬 教諭

対応や情報収集を担当する「専従」と内容を共有。専従教員が収集した情報をもとに対応策を検討するといった綿密な連携のもと、生徒一人ひとりの進路にいていねいに向き合っている。

自宅での求人票閲覧をあえて推奨しない点も興味深い。18歳で成人となる生徒たちには、保護者の意向ではなく自らの意思で動いて欲しいという思いや、将来転職活動をする際に必要となる「情報を自分で調べる力」を身につけて欲しいという意図があるためだ。変化が激しい時代の中、「自ら道を拓く力」を育む同校の取り組みは、今後の教育の一つの指針として注目されるに違いない。



道内の景気回復を阻む人手不足 北海道経済同友会 人流・物流の維持強化に求められるアプローチ

北海道経済同友会(本部・札幌市)は5月14日、北海道地域活性化委員会報告書『人手不足をどう克服するか』を公表し、道内で深刻化する人手不足への改善策を提示した。

道内ではここ最近、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束に伴うインバウンド需要の回復により、今後の経済発展を促進する分野として観光産業への期待が高まっている。一方、成長の停滞要因として懸念されているのが、新型コロナ禍以前から続く「人手不足」だ。

帝国データバンク札幌支店が昨年7月に発表した「道内企業向け意識調査」の結果では、令和6年7月時点で、55.8%の企業が正社員の不足を感じていることが判明した。人手不足の割合は、平成30年に初めて50%を上回り、ポストコロナ期の令和4年以降は、50%台など高止まりの状況が続いている。

人手不足が進む背景には、道内において人口減少や少子高齢化が加速している現状がある。同報告書によると、北海道は全国に比べて約10年早く人口減少

局面に突入り、令和2年の総人口は、平成9年のピーク時から約48万人減の522.5万人となった。15～64歳の生産年齢人口も同様のペースで減少しており、景気回復を牽引する観光産業を中心に、労働力の確保が喫緊の課題になっているという。

加えて、面積が広大で人口密度が低い北海道では、トラックドライバーの労働時間制限により輸送力の低下等が生じると喧伝される「2024年問題」が経済活動に与える影響も大きいと考えられている。

■北海道の人手不足割合推移(各年7月時点)



このような背景を踏まえ、道内の人流・物流の維持強化を図るべく、同報告書は「人手の確保」と「システム・仕組みの改善」の二つの切り口から人手不足を克服する施策をとりまとめた。「人手の確保」は、従業員の心理的な安全を確保することで会社への満足度を高め、離職率の改善や生産性向上を目指すというもの。自由に意見を出せる風土の醸成や、困った際に助け合える仕組みの構築が

例として挙げられている。「システム・仕組みの改善」については、システム導入やデジタル活用により業務の効率化・省人化を図ることや、道内物流業界における共同輸送の拡大等を提示している。これらの施策を具現化するためには、「個社」「他社との連携」「地域や業界全体」の各レベルに適した形で取り組みを進めることが重要であると、官・民連携で人手不足に挑む必要性を強調した。

北日本エネルギー 札幌支店

(令和7年7月、現・北日本石油株式会社より名称変更予定)

エネルギー総合企業として事業展開中!

●基幹事業 ガソリン等石油製品の販売、新車・中古車の買取・販売、カーリースなど
●設立 1959年(昭和34年)
●資本金 90,000,000円
●従業員数 995人

会社の強み・社風
半世紀以上にわたり石油製品販売業に携わり、業界トップクラスを誇る中核企業です。総合エネルギー企業として、危険物研修や整備士研修など、あらゆる業務に優先して人材育成の向上を追求して取り組んでいます。

〒007-0847 札幌市東区北47条東13丁目3-10
TEL 011-723-6411
URL https://www.kitanihon-oil.co.jp

有限会社弘栄電気

広大な鉄道ネットワークの大動脈を造る

●基幹事業 在来線および新幹線で使用する電線の架線新設・修繕 など
●設立 1974年(昭和49年)
●資本金 3,000,000円
●従業員数 16人

会社の強み・社風
私たちは、JR北海道・JR東日本の電車架線工事などを行い、鉄道の大動脈である電力の安定供給の一翼を担う会社です。安全対策、古くから培った高い技術力を未来に伝承するために万全な「安全対策」、古い概念にとらわれない「働きやすい環境」を整えています。

〒047-0265 北海道小樽市春香町339
TEL 0134-62-3524
URL https://kouei-dn.com

株式会社ノールテック

北海道の電気を守る

●基幹事業 送電線の建設(基礎、鉄塔組立、架線)・保守
●設立 1998年(平成10年)
●資本金 37,000,000円
●従業員数 37人

会社の強み・社風
送電線の建設・保守を行うことで、電気のある生活を支えます。景気動向に左右されない安定感が魅力です。研修も充実。技術技能の向上や資格取得により、安全に仕事ができる環境を整えています。

〒007-0880 札幌市東区丘珠町524-105
TEL 011-789-8633
URL https://www.nordtec.co.jp

三愛自動車工業株式会社

お客様のカーライフに寄り添う仕事

●基幹事業 自動車の車検整備、钣金修理、車両の販売 など
●設立 1965年(昭和40年)
●資本金 15,000,000円
●従業員数 104人

会社の強み・社風
当社には、車検・修理・点検などのためにさまざまな車が集まります。「クルマとクルマに関わることを通じて、プロフェッショナルとして成長をもちろ、クルマを通して、お客様との関わりを大切にしています。」

〒007-0842 札幌市東区北42条東19-1-1
TEL 011-781-9111
URL https://www.san-ai-jikou.co.jp/

キャリア教育の変化に気がついていませんか。

キャリア教育支援協議会

- ミスマッチのない確かな就職
- 高校×企業の協働「高企連携」
- 会員企業募集中

キャリア教育支援協議会
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1659 E-mail info@s-kyogikai.com

職業適性診断の導入 「感動・満足」を提供



職業適性診断を通して職業観を醸成 指導に対する低い自己評価からの再始動

明治41年の創立当初から今日に至るまで、秋田県に門を構えるミッションスクールとしてキリスト教の精神に基づいた「人間教育」を行ってきた聖霊学園高等学校(秋田県秋田市、工藤保代校長)。生徒一人ひとりに寄り添う進路指導に通底するものとは何か。

●軸は職業適性診断の実施

聖霊高校では、生徒の目標進路を実現する一環として、コース制を導入している。各コースの特性を踏まえた独自カリキュラムなど、学習指導体制が非常に整備されているのが特徴だ。生徒一人ひとりを大切にして進路指導に取り組み、ていねいなサポートを徹底することで、確かな進路実績につなげている。

そうした進路指導の一環として、同校はこのほど、ライセンスアカデミーの支援のもと、「職業適性検査」

を実施した。ラ社は高校生対象の就職・進学支援事業全般を幅広く手がけており、教材出版もメニューの一つだ。

今回は、教材の一つである「高校生のための適性診断テスト」を活用した職業適性検査を実施した。

「——適性診断テスト」は、進路選択の前提として、「職業理解」や「学部・学科への理解」を促すための教材だ。具体的には、同テストを構成する「職業・進路適性診断テスト」と「学部・学科適性診断テスト」

の2種類のテストから、高校生の職業観・就労観の育成や学部・学科知識の習得、文理選択の判断材料として生徒の進路選択をサポートする。今回同校では「職業・進路適性診断テスト」を用いて、生徒の職業適性の把握に努めた。

●生徒を支える指導の熱意

学校がこうした構えを取る背景には、同校の職員が抱く進路指導への十二分な熱意がある。校内で実施した前年度アンケートによると、それまでの「将来につなげる勤労観や職業観を身につけられる進路指導」に対する教員の評価・満足度が意外にも低いことが分か

った。1年次の進路指導では職業観の醸成を意識して講演会などを実施してきたが、それだけでは不十分だと感じている教員が多いことが判明した。生徒一人ひとりの意識や適性を学級担任が把握し、よりキメ細かな進路指導を目指す。

生徒が希望する職業は、彼女たち自身のこれまでの経験から知り得た職種に偏りがちであり、何らかのきっかけがなければ職業選択の幅が広がることがないという実態を危惧していたのだという。

しかし、職業適性診断を実施することで、「回答時」「結果の確認時」「結果分析を受けるタイミング」の少なくとも3回は、生徒が職業について考える機会を設けることができる。この診断を契機として、生徒がより現実的に職業について考



▲「高校生のための適性診断テスト」

えることを期待している。聖霊高校では、学級担任が生徒一人ひとりの職業意識や適性を踏まえ、具体的かつ実践的なキャリア教育を展開することが求められている。そして生徒には視野を広げることで、不確実な時代においても自分の能力を活かせる職業を主体的に探し出し、将来を切り開いていくことが望まれている。希望する進路の実現をサポートするライセンスアカデミーの教材を用いた進路指導で、聖霊高校の生徒の進路活動は今後さらに充実していこう。



「食」を通して幸せの創出を目指す 安定した業績と働きやすい環境が人を育てる

昭和60年の創業以来、今年で40周年を迎える株式会社一心亭(本社青森・五所川原市)。地元・青森県や北海道を中心に、地域に溶け込み地域住民に愛され続けてきた魅力はどこにあるのか。若手社員がキャリアアップを目指しやすいと評判の人材育成の手法と共に紹介する。

●地域に愛される飲食店

株式会社一心亭は、青森県や北海道などを軸に「焼肉レストラン一心亭」を展開する地域密着型の企業だ。「食を通じて幸せを創造する」をモットーに、ただ美味しい料理を提供するだけではなく、食を通じて笑顔を生み出し、人と人をつなぐ「幸せの場」を創



創業以来地域に寄りそい地元民に親しまれる安定企業

出しているのが大きな魅力の一つだろう。

来店した利用客が笑顔で食事を楽しんでいる姿に接したり、『ありがとう』『おいしかった』『また来ます』などの言葉をかけて満足した様子で退店する場面に立ち合った際には、「忙しさの疲れも吹き飛ばすような嬉しさがこみあげてきます」と、総務本部・主任の世永優人氏は熱く語る。これが飲食業のやりがいであり、利用客にいか「感動・満足」してもらえるかを常に考えて、日々の業務に励んでいると明かす。

●若手社員のキャリアアップ

同社では、経営理念を浸透させ、社内コミュニケーションを大切にすることで社風を良くし、明るく活力のある人材を育てることを方針として掲げている。特に、採用にも力を入れている新規高校卒業予定者に対しても同様で、新卒入社の手でも早期のキャリアアップを目指すことができる環境を構築している。

高校新卒者採用では「ホールスタッフ」「キッチンスタッフ」の2職種を募集。求める人物像として①周囲に「信頼」される人間性②自ら学び続ける「情熱」と「主体性」③逃げない、誤魔化さない「責任感」④チームを牽引する「リーダーシ

ップ」——の4点を掲げている。学歴や年齢の制限は設けていない。そのため、一人ひとりの努力をしっかりと評価する制度のもとでキャリアを積み上げていくことが可能だ。実際に30歳で店長職や幹部職に登用されるケースや、高校卒業3年目にして役職者に抜擢されるなど、活躍する若手社員は少なくない。また、結婚・育児などの環境変化にも対応した多様な働き方も実現可能なため、今後は女性社員の幹部登用も増やしていく方針だという。

キャリアアップのための研修制度も充実しており、社内アカデミー制度や社長塾、未来塾など多数の研修制度により幅広い知識・知見を身につけていく。また、社内イベントや福利厚生も充実しており働きやすい環境が整っている。飲食業界での仕事は重労働



さまざまな制度で社員の成長やキャリアアップをサポートする

働で大変だというイメージを抱かれがちだが、一心亭社では、業績の安定性と従業員の働きやすさにこだわりを持っているため、十分な社員定着率を誇り、経済産業省の「おもてなし経営企業選」や農林水産大臣賞などの外部評価も多数獲得していることから分かるように、安心して働くことができるだろう。

従業員と共に成長しながら顧客に対する「感動・満足」の提供に尽力し、関わる全ての人を「幸せ」にする一心亭社。若手社員を育て、食を通じた幸せを生み出す同社の今後にも注目したい。

株式会社キタセキ

信頼の品質と安定供給で日本の物流を支えます

●基幹事業 大型サービスステーション(ガソリンスタンド)の運営
●設立 1975年(昭和50年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 347人

会社の強み・社風

さまざまな経営環境の変化の中、当社は的確に対応して成長し、令和6年8月で創業50年を迎えました。今後多くの課題が待ち受けていり、共に「会社一社員」のよでも、当社が勝ち残り、良い将来を展望し、邁進していきます。

〒989-2493 宮城県岩沼市相原の原3-1-6
TEL 0223-24-1661
URL http://www.kitaseki.co.jp/

クレア工業株式会社

「街」を造り「暮らし」をまもる

●基幹事業 左官工事、塗装工事、耐震補強工事、一般住宅新築リノベーション工事 ほか
●設立 1970年(昭和45年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 91人

会社の強み・社風

ビル建築や商業施設などの建築工事から一般住宅の外装内装工事、住宅リノベーション事業にいたるまで、人々の安心・安全を柱として事業を展開しています。た、暮らしをまもると建物を建てるのでは、い使命があります。

〒984-0822 仙台市若林区さすみ町24-15
TEL 022-286-7287
URL https://clear-indst.jp

東洋ワークセキュリティ

安全・安心な社会づくりのプロとして

●基幹事業 警備、総合セキュリティ、建物サービス(管理・清掃)、防犯システム販売
●設立 2009年(平成21年)
●資本金 40,000,000円
●従業員数 3,000人

会社の強み・社風

東北で安定した経営基盤を作り、技術向上に取り組むと共に、関西地方への事業拡大など積極的なチャレンジをしています。など、警備実務のほか、指し、暮らしをまもると建物を建てるのでは、い使命があります。

〒980-0803 仙台市青葉区国分町1-7-18
TEL 022-225-5068
URL https://www.tw-s.co.jp/

医療法人松田会

大切な時間を、大切な人と自分らしく

●基幹事業 病院・クリニック、高齢者福祉施設、認可保育園
●設立 1982年(昭和57年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 1,600人

会社の強み・社風

医療法人松田会の強みは、急性期から在宅支援まで一貫した医療福祉サービス提供を通して、安心とぬくもりを届け、地域の方々への幸せづくりのお手伝いができることです。また、利用者様に対してだけではなく職員同士でも優しさを大切に、思いやる社風です。

〒981-3217 仙台市東区実沢字立田屋敷17-1
TEL 022-378-0824
URL http://www.matsudakai.jp/

磐平和住宅情報センター

快適な仙台ライフの実現をサポート

●基幹事業 賃貸仲介事業、賃貸管理事業、資産運用事業など
●設立 1990年(平成2年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 140人

会社の強み・社風

仙台市を中心に不動産の賃貸仲介・管理・売買を行う当社は、顧客のニーズに応じて最適な提案ができるよう体制を整えています。使命と責任感を強く、未来を見据えた「生活の基盤となる住まいを提供する」ことへの社会に貢献します。

〒981-8004 仙台市東区旭丘2-21-4
TEL 022-234-6011
URL https://www.heiwajutaku.com/

高校新卒
就職者

鮮明な少子化時代で沸騰する人材獲得競争

1面より

学、「就職」に至っては6%程度という普通科の進路内訳とは大きな隔たりがあるのが実際のところだ。良い・悪いとか、どちらが上で下であるとかいうことでは全くなく、そうした一般的な傾向があるということだ。企業側に立てば、将来自社を背負うような人材への成長が期待でき、かつ即戦力はなかなか厳しくとも、専門性を吸収する素地を備えているという意味では、工業や商業、また福祉や家庭出身の若手を望むのは、ごく自然な流れだといえるだろう。すでに述べたように、普通科からの「就職」は6%程度にとどまっている。

●地域別就職状況

地域別の就職状況に目を向けてみると、トップは「中国・四国地域」と「中部地域」が共に98.8%を記録した。以下、「北海道・東北地域」が98.6%、「九州地域」が97.7%、「近畿地域」は97.5%、「関東地域」は96.7%と続いた。

さらに、都道府県別で精査すると、就職率が高いほうから「福島県」と「富山県」が99.9%、「福井県」99.8%、「広島県」99.7%、「山口県」99.6%、「和歌山県」と「石川県」、そして「秋田県」の3県が99.5%で並んでいる。逆に、就職率が低いのは「沖縄県」91.9%、「神奈川県」

94.7%、「東京都」95.0%、「千葉県」95.2%、「大阪府」96.4%、「高知県」96.6%だった。

神奈川・東京・千葉・大阪といった都市部で就職率が低いのは意外に思われるかもしれない。しばしばいわれるのは、これら都市部には大学・専門学校など「進学」の選択肢が地方に比べて豊富であること、またそうした現状を背景に進学意向が強く、かつそれを支える家計所得の高さなどがあるとされる。とはいえ、母数となる就職希望者の絶対数はもちろん、地域性や地場産業の状況なども都道府県ごとに大きく異なるため、これらを考慮したうえで参考程度として捉えるようにしたい。

求人数の増加傾向あらわに突出する「金融業、保険業」

ここまで見てきた文科省の「令和7年3月新規高等学校卒業者の就職状況（令和7年3月末現在）」に関する調査ではフォローしていない「求人数」を把握するために、ここでは厚生労働省が発表している「令和6年度『高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況』取りまとめ（3月末現在）」を見ていこう。

COVID-19の感染拡大期の渦中にあった令和3・4年3月卒業（予定）者に対する求人数は新型コロナ禍前の約8割程度にとどまって

（「過剰」-「不足」・%ポイント）

■表2 雇用人員判断

		2024年12月調査		2025年3月調査		
		最近	先行き	最近	変化幅	変化幅
大企業	製造業	-18	-21	-17	1	-21
	非製造業	-39	-39	-39	0	-40
	全産業	-28	-29	-28	0	-30
中堅企業	製造業	-24	-27	-26	-2	-28
	非製造業	-46	-50	-46	0	-48
	全産業	-36	-40	-38	-2	-40
中小企業	製造業	-24	-31	-24	0	-30
	非製造業	-48	-52	-48	0	-52
	全産業	-40	-44	-39	1	-44
全規模合計	製造業	-23	-27	-23	0	-27
	非製造業	-46	-49	-46	0	-48
	全産業	-36	-41	-37	-1	-39

（資料：日本銀行「第204回全国企業短期経済観測調査」）

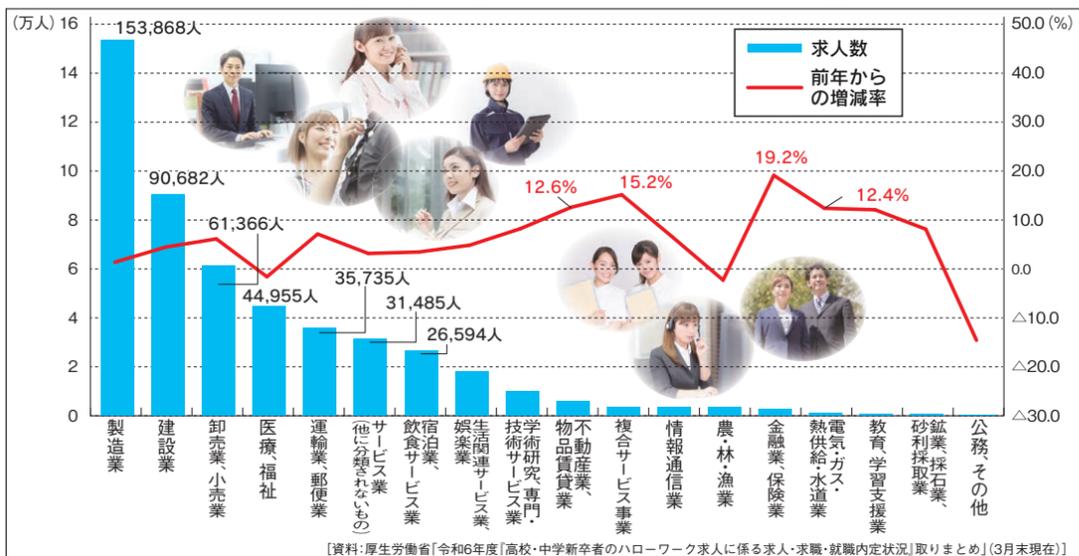
■表3 高校新卒者のハローワーク求人に係る規模別求人状況

規模別	令和6年3月	令和7年3月	増減数(人)	増減率(%)
29人以下	162,863	167,900	5,037	3.1
30~99人	145,793	150,820	5,027	3.4
100~299人	89,531	93,790	4,259	4.8
300~499人	25,995	26,879	884	3.4
500~999人	22,552	22,493	△59	△0.3
1,000人以上	35,536	37,355	1,819	5.1
合計	482,270	499,237	16,967	3.5

注1 比率については小数点第2位を四捨五入している

（資料：厚生労働省「令和6年度『高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況』取りまとめ（3月末現在）」）

■図2 令和7年3月高校新規卒業者における産業別求人状況(令和7年3月末現在)



（資料：厚生労働省「令和6年度『高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職・就職内定状況』取りまとめ（3月末現在）」）

いたが、社会が日常生活を取り戻すようになると経済活動も活発化し、令和7年3月卒業者に対する求人数は49万9,237人、前年同期から1万6,967人の増加となり、新型コロナ禍前を超える水準にまで回復した。

各産業における高校新卒（予定）者に対する求人状況を見ても、回復基調が鮮明だ。最も多くの人材を募集している「製造業」の求人数が、それを構成する23分野を合算した15万3,868人（前年同期比増減率1.3%）でトップを占めている。23分野の中で前年同期を割り込んだのは、「繊維工業」「家具・装備品製造業」「電気機械器具製造業」など7分野に過ぎなかった。

「産業分類」として見た場合の2位以下は、求人数が多い順に「建設業」の9万682人（同4.4%）、「卸売業、小売業」6万1,366人（同6.1%）と続いており、「農・林・漁業」、「医療、福祉」、「公務、その他」を除いたほかのすべての産業で前年より求人が増加している。

最も増減率が高いのは「金融業、保険業」で、求人数自体は3,437人だが、前年からは19.2%の増加率で突出している。これは、地方銀行や信用金庫などにおける人手不足を背景に大卒者だけではなく、高校新卒者を対象とする採用活動が拡大する傾向にあることを示していると推察される。なお、全体の増減率は3.5%だが、前年同期の増減率は8.7%だったことから、求人における勢いは多少落ち着いてきたともいえるようだ。

深刻化する企業社会の人手不足
多様な指標と情報をつかむ

近年の新規高卒者の就職



（内定）率が高水準で推移している要因の一つに、国内の主要産業——というよりは、ほぼすべての産業における人手不足が挙げられる。日本銀行の調査統計局が4月1日に発表した「第204回全国企業短期経済観測調査」の令和7（2025）年3月調査では、「製造業」「非製造業」とともに人手不足が深刻化している実態が明らかになっている。

同短観調査の中で、雇用人員が「過剰」と答えた企業の割合から「不足」と答えた企業の割合を差し引いた数値——いわゆる「雇用人員判断」を見ると、製造業はマイナス23、非製造業はマイナス46で、全産業はマイナス37を示している。マイナスの数字が大きくなるほど人員が不足していることを表している。

これを企業規模別で見ると、全産業の大企業はマイナス28、中堅企業はマイナス38、中小企業はマイナス39と、企業規模が小さくなるほど人員が不足していることが分かる。

現在は少子高齢化が急速に進み、労働力の確保が喫緊の課題となる中、新規学卒者の獲得競争は激しさを増している。新規高卒者採用に意欲的な企業は、働き方改革や定着支援への取り組みを分かりやすく訴求

し、自社の特徴や魅力をアピールしている。新規高卒就職希望者は、ぜひこのような情報や指標をキャッチして理解を深めて欲しい。

就活・採用活動は例年通り
9月16日以降に選考解禁

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の就職活動、およびこれに伴う採用活動に関しては、全国高等学校長協会（本部東京・港区）、主要経済団体（一般社団法人日本経済団体連合会、日本商工会議所および全国中小企業団体中央会）、文部科学省および厚生労働省が高等学校就職問題検討会議を開催し、令和7年2月3日に従来通りのスケジュールの適用になったことが発表されている。

具体的には、6月1日よりハローワークによる求人申込書の受付が開始。7月1日から企業による学校への求人申込および学校訪問が開始され、9月5日より学校から企業への生徒の応募書類の提出が開始される（沖縄県のみ応募書類の提出開始は8月30日）。そして9月16日より企業による選考および採用内定が開始されるというのが、令和8年3月高校新規卒業就職志望者に関する流れとなっている。



日本社会の動きを知り
キャリアデザインを考える

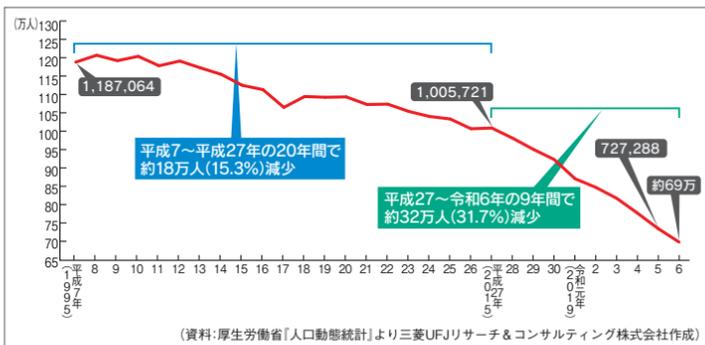
ニュースアラカルト

人口急減 出生数70万人割れ、社会の担い手が急減 —— 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社(本社東京・港区)は4月1日、日本人の出生数は平成28(2016)年以降急減期にあり、平成27(2015)～令和6(2024)年までの9年間で約32万人(31.7%)減少しているとの衝撃的なデータを公開した。

分析結果では、日本人の出生数は、昭和49(1974)年以降増加に転じた年はあるものの、おおむね減少傾向

■出生数(日本人)の推移



向が継続していると指摘。平成7(1995)年の118万7,064人を起点に平成27(2015)年の100万5,721人まで、20年間で18万1,343人(15.3%)減少と、比較的緩やかに推移したこと

に言及した。その理由として、他の世代と比較して人口規模が大きい「団塊ジュニア世代」の女性が出生率の高い年齢層にあっ

たためと示した。しかし、その後団塊ジュニア世代の年齢の上昇に伴って、出生率の高い世代の女性人口が急減し、出生数も同じ動きになったとした。出生数を見ると、平成27(2015)年からわずか9年間で約32万人(31.7%)も減少した。これらのことから、令和6(2024)年の日本人出生数は、推計で70万人を下回ることが見込まれるとした。

出生数急減が始まった平成28(2016)年生まれの子どもたちが、令和16(2034)年には18歳となるため、このタイミングから高校・大学を卒業して社会の担い手となる人材も急減期に入ること

を意味している。さらに、その10年後の令和26(2044)年頃には、国外との転出入を除けば、令和16年頃と比べて社会の担い手が3割程度減少すると結論づけている。今後は、将来を見据えた社会・経済政策全般の充実と強化、担い手不足でも社会機能の維持を可能にする技術革新が求められると結

消費行動 消費を動かす「推し活」の現在地 —— テテマーチ株式会社

テテマーチ株式会社(本社東京・目黒区)が運営する「サキダチラボ」は5月15日、Z世代の「推し活」に関する実態調査の結果を公表した。対象は全国の大学生・大学院生で、350人にアンケートを実施した。

楽しみ方が多様化している「推し活」は、Z世代の価値観や消費行動に深く根づくカルチャーとして定着している。SNSの普及によって推しとの距離が近づき、「応援」はリアルとデジタルを横断して、日常の一部として浸透している。

推し活に費やす時間は、週平均で「5時間未満」が63.1%、「5～10時間未満」が20.3%と、全体の8割以上が推し活に週10時間も費やしていないことが分かる。この結果から、推し活は時間をかけなくても、日常生活の中で気軽に楽しめる活動になっていること

■推し活におけるお金の使い道

- イベントに参加する(ライブ・舞台・ファンミーティング・コラボカフェなど)
 - 公式グッズを買う
 - CD・DVDを買う(音楽配信を含む)
 - 書籍・雑誌・マンガを買う(電子書籍を含む)
 - ロケ地巡り・聖地巡礼に行く
 - 推し会に参加する(誕生祭・作品鑑賞)
 - コラボ商品や推しが広告に起用された商品を買う
 - ファッション・美容・コスプレ(推しをイメージした服装・メンバーカラーのメイクなど)
 - ゲーム・スタンプなどのデジタルコンテンツに課金する
 - 公式以外の概念グッズ購入や応援グッズ制作(メンバーカラーや推しをイメージしたグッズ)
- (資料: テテマーチ株式会社「推し活」に関するアンケート調査)

が考えられる。また、男女別で比較すると、女性のほうが推し活に費やす時間が長い傾向が見られた。

推し活に週10時間以上かつ月10,000円以上消費している「ヘビー層」が6.3%、週5時間未満かつ月3,000円未満消費する「ライト層」が50.0%、ヘビー層およびライト層どちらの条件にも当てはまらない「ミドル層」が43.7%となった。

企業には、推し活市場の現在地を理解し、あらゆるファン層の視点に立った企画が期待されるだろう。

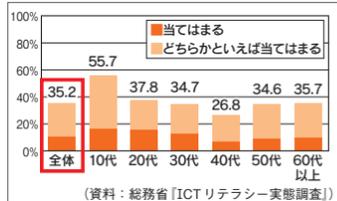
実態調査 問われるICTリテラシーとその対策 —— 総務省

総務省は5月13日、『ICTリテラシー実態調査』の結果を公表した。これは、全国の15歳以上の男女2,820人を対象に、利用者のICTリテラシー、偽・誤情報の拡散傾向等を把握するための調査だ。

公表によれば、偽・誤情報を見聞きした人のうち、47.7%が「正しい情報だと思う」「おそらく正しい情報だと思う」と回答していた。また、偽・誤情報に接触した人のうち25.5%が、家族や友人などに伝えたり、SNS等で拡散したりしていた。特に、若い年代においてその割合が高かったのだという。

拡散した理由として最も多いのは、「情報が驚きの内容だったため」27.1%だった。また、「興味深いと思った」20.9%、「重要だと感じた」20.4%、「他の人にとって有益だと思った」20.2%など、情報に何らかの価値を感じて拡散したと思われる回答も目立った。こうした状況は、ICTリテラシーに対する若者の自己理解度の肯定感と無関係ではないだろう。全体の35.2%、年代別に見ると10代の55.7%が高いと思

■自身のICTリテラシーが高いと思う



と回答している。他世代に比べて突出した高さだ。

SNS・インターネットは、現代生活には欠かせない。総務省が公開しているICTリテラシーに関する啓発教育教材などを活用し、情報を判断し正しく扱える力を身につけるのも良いだろう。検討したい。

不登校調査 不登校経験の有無で異なる登校したくない理由 —— 株式会社プレマシード

株式会社プレマシード(本社東京・渋谷区)は、4月8～17日までの期間、「コロナ禍の学齢別不登校経験とその理由に関する調査」を実施した。対象は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行時に「小・中・高校生だった方」「大学生以上だった方」の計600人で、「小・中・高校生」と「大学生以上」に分けて統計を取った点が特徴的だ。

「今までに『学校に行き

たくない』と思った理由」を複数回答で尋ねた質問では、「いじめを除く友人関係」が26.8%と最多で、以下、「いじめ」23.7%、「不安・気分の落ち込み」22.5%、「ストレスによる体調やメンタルの不調」21.0%、「授業がつまらない/興味を持ってない」20.8%と、続いた。

さらに、これらの回答結果を、「学齢/不登校経験のあり・なし」別に詳しく見ていくと、「小・中・高

校生/不登校経験あり」では「ストレスによる体調やメンタルの不調」が55.0%と突出していた。このほか、「いじめを除く友人関係」が43.8%、「不安・気分の落ち込み」が40.0%と続いていた。

「小・中・高校生/不登校経験なし」では、「授業がつまらない/興味を持ってない」が19.5%と最も高く、「いじめを除く友人関係」および「不安・気分の落ち込み」がいずれも18.6%、「ストレスによる体調やメンタルの不調」15.0%と、不登校経験の有無で回答に差異が見られた。

意識調査 「隠れたカリキュラム」の存在を知る —— ガールスカウト日本連盟

公益社団法人ガールスカウト日本連盟(本部東京・渋谷区)は4月28日、『中学生・高校生のジェンダーに関する意識調査2024』の報告書を公開した。

同報告書は、日常生活で無意識に感じるジェンダーバイアスについて日本の現状を知ると共に、中学・高校生の声を広く社会に伝え

*1 ジェンダーバイアス 性別による無意識の思い込みのこと。例えば、「男の子は青で、女の子はピンク」など。

ることを狙いとして作成されているもので、今回は「隠れたカリキュラム」を軸に分析を行った。

学校には「公式のカリキュラム」として教育側が明示的に教える内容以外に、学校生活や学校制度、また教師の言葉や態度などを通して、子どもたちが学び取っていく規範や価値観、信念などが存在する。同様に、「家庭生活」における保護者の言葉遣いや態度・家事

分担のほか、テレビ番組や広告・SNSなどの「メディア」など、日常生活のあらゆる場面に存在しているため、ごく自然に学ぶことになってしまふ知識や価値観、行動様式のことを隠れたカリキュラムと呼ぶ。子どもの成長に大きな影響を与えるとされる。

看過できないのは、役割分担や進路指導の場面で、教師の対応が性別によって平等ではないと感じている中学生・高校生が10%前後いることだろう。

他方、「性別を意識し、何かを決定することはある

か」という設問に対して、男女共に約4割の高校生が「ある」と答えていた。「おしとやかにして男性のサポートに徹する」や「かっこ悪い姿を見せない」など自分の性別を意識して、言動や自己表現に制約をかけていることがあるようだ。報告書は、「隠れたカリキュラム」の存在を知り、気づくことが肝要だと指摘。その影響を意識した行動を取ること、ジェンダーバイアスの再生産を防ぐことができ、「自分らしく振る舞える」社会につながっていくとしている。

関東・首都圏 学校連携型キャンパス制 進学・就職合同イベント

茨城県立結城第一高等学校 外国人生徒支援のモデル校に選定 鬼怒商業高校との学校連携を開始

明治30(1897)年に結城蚕業学校として創立し、128年の歴史と伝統を有する茨城県立結城第一高等学校(茨城県結城市・長久保静江校長)。ここでは、同校の特徴や魅力と共に、手厚いキャリア教育などについてレポートする。

●**外国人生徒への充実の支援**
結城第一高校は「自強不息」を校訓に掲げる。これは、自ら努め励み、全力を尽くして怠らないことを意味し、この校訓を実践するように多くの生徒が学業や部活動をはじめとするさまざまな活動に意欲的に取り組んでいる。

令和4年度には文部科学省から外国人生徒等への支援充実のモデル校に指定され、現在は外国人生徒の支援体制を強化している。具体的には、語学が堪能なスタッフやコーディネーターを配置し、日常生活における相談や支援を行っている。また、放課後には日本語教室を運営するほか、夏季休暇の期間中はサマース



クールを開催するなど、日本語能力の向上と充実した生活実現へのサポートを行う。こうした支援体制の成果もあり、外国人生徒の入学人数は増加基調にある。

●**手厚いキャリア教育を展開**
令和7年度からは茨城県立鬼怒商業高等学校(同、荒井智則校長)と「学校連携型キャンパス制」をスタートさせた。これは、ICTを活用して両校の生徒に遠隔授業を実施するほか、学校行事での交流や部活動の合同練習などを行うというもの。他校との定期的な交流によって、生徒たちはお互いに良い刺激を受けながら高校生活を送ることができると期待されている。

例えば、鬼怒商業高校は商業科と情報ビジネス科の2学科を設置しているため、結城第一高校の生徒が簿記やマーケティング、プログラミングなどの専門



的な授業の履修が可能な学習環境を実現している。

一方、結城第一高校ではキャリア教育にも力を入れており、2年次には全員がインターンシップに参加する。また、就職希望者に対しては手厚く面接練習を行うためなのだろう、直近10年間の就職希望者は全員が就職を果たしているという。また、3年次生は全員がマナー講座を受講する。仮に進学する場合であってもいつの日にか社会で働くことになった時に困らないようにするために、スーツの着こなし方やメイクアップの仕方、礼儀作法を外部講師から学んでいる。

5月2日には学校連携型キャンパス制記念式典が結城第一高校で挙行された。地域に根ざし、地域間で連携した高校として今後も同校に注目が集まりそうだ。

Event Report 詰めかけた850人超の生徒 熱気あふれた「長野会場」

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は4月22日、長野県産業教育振興会第一支会(事務局・長野市)と連携して「進学・就職合同進路ガイダンス」を、多目的スポーツアリーナ「ビッグハット」で開催した。

これは、高校生が卒業後の進路を選択する上で有益な情報を得ることを目的とする進学・就職イベント。

当日は、大学・短期大学が72ブース、専門学校が101ブース、企業が86ブースを出展し、850人以上の高校生が来場するなど、会場は熱気に包まれた。就職希望の生徒は約400人が参加しており、企業の人事・採用担当者らから直接説明を聞こうと積極的にブースを訪問して熱心に耳を傾ける姿が会場の至るところで見受けられた。

参加した高校生からは「多くの企業の説明が聞けて、就職活動への意欲が高まった」「第一志望の企業の説明を聞くために遠方か



ら参加して良かった」など、好感度な感想が数多く聞かれた。一方、企業側からは「この地域のイベントへの参加は初めてでしたが、参加して良かった」「例年このイベントで接触した生徒が採用試験を受験してくれている」など、こちらも手応えをつかんだという声が数多く聞かれた。

今回のイベントを手がけたラ社の担当者は「長野県の進学・就職イベントで86社の参加は過去最多となりました。今後も進路選択を控える高校生にとって有益な情報を提供できる機会を創出していくつもりです」と、熱く語った。

同社では会場周辺地域の高校や企業等の意向を踏まえながら、来年度以降もさらに充実した進路ガイダンスを開催していく予定だ。

TCA 東亜工業株式会社

「自動車」と「住宅」で暮らしを支える

●基幹事業 自動車事業、住宅事業
●設立 1960年(昭和35年)
●資本金 3億10万円
●従業員数 1,281人

●**会社の強み・社風**
東亜工業株式会社は、基幹産業である自動車と住宅のパートナーとして豊かな未来を築き、私たちが取り巻くすべての人々を幸せにしたいと考えています。に挑戦することが可能研究開発、設計、製造です。

〒373-0847 群馬県太田市西新町126-1
TEL 0276-31-7200
URL https://www.toaweb.co.jp/

株式会社日本キャンパック

高レベルな「ものづくり力」

●基幹事業 清涼飲料水などの受託製造および販売
●設立 1973年(昭和48年)
●資本金 4億1,100万円
●従業員数 670人

●**会社の強み・社風**
日本キャンパックは、飲料製造を通じて、社会に貢献する受託充填会社です。メーカー各社の飲料を容器に詰めて販売分が携った製品を見つけた時、大きなやりがいや達成感を自動販売機などで感じられるはずですよ。

〒370-0712 群馬県邑楽郡明和町矢島1230(群馬第1・第2・利根川工場)
TEL 0276-61-3465(採用担当)
URL https://www.nihoncanpack.jp/

株式会社イハシ(イハシグループ)

100年以上の伝統と実績で安心を提供

●基幹事業 セルフガソリンスタンドやレンタカー店の運営、ガス器具の販売、リハビリ型介護施設の運営など
●設立 1910年(明治43年)
●資本金 50,000,000円
●従業員数 1,110人

●**会社の強み・社風**
ライフスタイルの変化に対応する生活関連事業を行うなど、常に未来を見据えて活動しています。幅広い事業を手がける当社だからこそ、自身の可能性を広げるチャンスが数あるため、さまざまな業務にチャレンジすることができます。

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地1-1-2
TEL 048-985-9111
URL https://ihashi-hd.net

株式会社丸和運輸機関

丸和の強みは『一体感』

●基幹事業 3PL事業、EC事業(ネット通販)、食品物流事業(スーパーマーケット)、運輸・宅配事業
●設立 1973年(昭和48年)
●資本金 3億5,000万円
●従業員数 連結:19,523人

●**会社の強み・社風**
2024年度より2年連続で基本給のベースアップを実施し(総合額:235,000円/他職群による)当社は単にモノを運ぶだけでなく、モノを運ぶ「仕組み」を創り出すことに注力しています。略的なモノの流れを提供する事業を全国に提供しています。[3PL(サードパーティ・ロジスティクス)事業]を中心にお客様チームワークを活かして働ける環境があります。

〒342-0008 埼玉県吉川市旭7-1
TEL 048-991-0600
URL https://www.momotaro.co.jp/

早い時期から「将来」と「キャリア」を考える!!

アプローチマガジン

2025 好評既刊

高校卒業後の進路選択は、その後の人生を大きく左右すると言っても過言ではありません。本誌は、大学や短期大学、専門学校等への進学、また民間企業就職や公務員など、イチ早く実社会で働くといったさまざまな選択肢から、高校生一人ひとりが「自分らしい」進路選択ができるように考えて編集された「進路のてびき」です。

お問い合わせ **ライセンスアカデミー**
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

「進路アドバイザー検定」公式テキスト **進路アドバイザーのための基礎知識 2025年度**

生徒の進路指導に役立つ最新情報が満載! 高校教員必携の「進路事典」がここに

●**巻頭記事**
2025年注目の教育テーマ

●**通信制高校 人気の背景とこれからの課題**
●**高校の教科情報で学ぶ データサイエンス**
●**2025年度 大学入試動向**
●**アントレプレナーシップ教育への挑戦**
●**高校生の就職活動を考える**
……など

●**第1領域**
進路指導・キャリア教育に関する基礎知識

●**第2領域**
学校に関する基礎知識

●**第3領域**
職業に関する基礎知識

進学や就職に関する各種データを網羅。進路指導の変遷からキャリア教育、進学・就職の現況、各産業における人材育成などについてコンパクトに収録。検定対策用の公式テキストであるのと同時に、この一冊を活用することで、より具体的・多角的な視点からの進路アドバイスが可能となります。ぜひお手もとにお備えください。

●B5判/224ページ
●定価 2,300円(税込)

本誌のご購入はwebから
https://daigakushinbun.com/adviser

お問い合わせ **大学新聞社 進路アドバイザー検定事務局**
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706 E-mail kentei@daigakushinbun.com

施設・イベント警備業

7段階の「階級制度」

関東・首都圏

ALSOK 神奈川株式会社

神奈川県内の「安全」と「安心」を守る 着実に成長できる人材育成システム

日本国内でも有数の大手警備会社として知られる総合警備保障株式会社 (ALSOK) のグループ企業の一つである ALSOK 神奈川株式会社 (本社・横浜市、三浦正樹代表取締役)。警備業務を通して神奈川県内の安全と安心を 24 時間 365 日守っている。同社の事業の特徴と共に魅力的な人材育成システムについて紹介する。

主軸は施設・イベント警備 希少性が高い警備にも対応

ALSOK 神奈川株式会社は、神奈川県内の安全と安心を守ることを目的に昭和 62 (1987) 年に設立された総合警備保障株式会社のグループ企業だ。経営理念として「我が社は、『ありがとうの心』と『武士の精神』をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす」を掲げ、感謝の心と武士のように強く正しく温かい心の二つを社員全員が大

切にしながら日々の業務に励んでいる。

同社が行っている警備には大きく「施設警備業務」と「イベント警備業務」の二つがある。施設警備業務は警備の依頼のあった銀行やショッピングモール、マンション、学校、研究施設、病院、工場などにおいて、主に「受付」や「監視」、「巡回」、出入口等に立って警戒する「立哨」を行う。

イベント警備業務は不特定多数の人々が集まる行事や催しなどがその対象だ。特に人気アーティストのライブやプロスポーツ、花火大会などには大勢の人々が会場周辺に殺到するため、雑踏事故が起きる可能性が排

除できない。そのため、同社の警備スタッフが歩行者や車両の誘導、また案内をていねいに行い、万一事故や対人トラブルなどが発生した際には瞬時に現場に駆けつけて適切な対応を行うなど、あらゆる場面に常に対処する。時には世界的な国際イベントを任されることもあり、普段は関われない社会的に注目度の高い業務で活躍できる可能性があるのも同社で働くやりがいの一つなのだろう。

多様な研修制度を用意 働きやすい労働環境が魅力

新入社員が着実に知識とスキルを身につけて成長することができるよう育成支援にも力を入れている。

入社時には「新任研修」として、働く上での基本や心構えを学ぶ。その後は警備の基礎を身につける「初任研修」、新しい知識やスキル等を学んで継続就労に活かす「現任研修」、さらには警備員指導教育責任者、貴重品運搬警備業務検

定、施設警備業務検定、空港保安警備業務検定といった警備業界内の各種警備検定合格に向けたサポートはもちろん、救助・介助を必要とする人への対応要領に特化した研修など、個別社員がさらに成長できる「専科研修」が用意されているほどの徹底ぶりが心強い。

また、同社にはキャリアアップを下敷きにした明確な階級制度がある。

入社時は「警備士」からスタートし、その後の昇任試験をクリアすることで「上級警備士」→「警備長」→「上級警備長」→「警備司令補」→「警備司令」→「警備司令長」と階級が一つずつ上がっていく仕組みだ。

昇任試験は一年に一回行われ、合格することによって昇進し、同時に「昇任研修」も受講する。これにより、自身の役割を改めて把握すると同時にさらなるスキルアップを図ることが可能になるのだという。

現在同社には 500 人以上の社員が在籍しているというが、無理のないシフト勤



社員同士が密にコミュニケーションをとり、万全の警備体制を構築している

務によってライフ・ワーク・バランスの取れる働き方が実現しているのも特徴の一つだろう。また、一年に数回の頻度でバーベキュー大会やボーリング大会、ホテル等での親睦会、若年層社員向けのイベントなどを実施し、社員同士のつながりや交流も大切にしている。

さらに、子育て中の社員が無理なく働き続けられるよう 3 歳未満の子どもを養育している場合には「育児休業制度」、小学校 4 年生未満の子どもを養育する社員に対しては「短時間勤務制度」を適用。女性社員はもちろん、男性社員もこの制度を活用して育児と仕事を両立させている者が少なくないのだと明かす。

新規高等学校卒業者が多数活躍する ALSOK 神奈川株式会社。警備業界に興味・関心のある就職希望の高校生は、まさに注目すべき一社と言えるだろう。



研修制度が充実し、若手社員であっても着実に知識とスキルを身につけることができる

株式会社カクヤス

お客様のご要望に「なんでも」応えたい

●基幹事業 飲料・食品等の販売および配達事業
●設立 2020年(令和2年)
●資本金 10,000,000円
●従業員数 1,892人

会社の強み・社風
お客様のご要望には、とことん応えるべく社をあげて全力を尽くすが、カクヤスの理念です。お客様のご要望に「なんでも」応えたいという思いは、社員一人ひとりにしっかりと根づいており、お客様に満足いただけるサービス向上につながってまいります。自ら主体的に考える姿勢、私たちは信じています。

〒114-0003 東京都北区豊島2-3-1
TEL 03-5902-3619
URL https://kakuyasu-recruit.jp

台湾太平洋ゴルフサービス(株)

世界レベルの技術を身につける

●基幹事業 全国19コースのゴルフ場運営、世界的なトーナメント開催、銀座会員制レストラン運営
●設立 1971年(昭和46年)
●資本金 26億円
●従業員数 1,716人

会社の強み・社風
太平洋クラブは、限られた人を対象とした「高級会員制ゴルフクラブ」です。接客や料理などすべてに高い品質を追求し、世界的なトーナメントも実施されています。また、業界からも高く評価されています。

〒100-6228 東京都千代田区丸の内1-11-1 PCP丸の内28F
TEL 03-5219-8195
URL https://www.taiheiyoclub.co.jp

太陽鉱油株式会社

人と人の想いを未来へつなぎます

●基幹事業 エネルギー販売
●設立 1971年(昭和46年)
●資本金 44,000,000円
●従業員数 1,000人

会社の強み・社風
当社は物流を支える運送会社に向けた軽油販売をメインに、東日本エリアで直営61店舗のネットワークを有し、成長の喜びを感じられるキャリアプランが描かれています。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町3-8-1 TT-2ビルディング6F
TEL 03-5641-5215
URL https://www.taiyo-koyu.co.jp/

多摩電気工事株式会社

多摩地域の電力を支える

●基幹事業 配電設備工事を中心とする受電設備工事、電気通信設備工事など
●設立 1959年(昭和34年)
●資本金 72,500,000円
●従業員数 142人

会社の強み・社風
創業から今日まで、配電設備の建設、改修、保守の業務を通じて社会生活に必要な「電力インフラ」を支えてきました。磨き、最高の技術と高い工物品質で社会貢献する気持ちを大切にしながら技術・技能を継承し、高品質なサービスを提供し、社会貢献を目指します。

〒191-0065 東京都日野市旭が丘3-1-10
TEL 042-581-5351
URL https://www.tamadenko.co.jp/

北新建設株式会社

トンネル専門工事のリーディングカンパニー

●基幹事業 トンネル施工、地下土木工事
●設立 1950年(昭和25年)
●資本金 1億円
●従業員数 500人

会社の強み・社風
当社は、トンネル工事に特化した専門工事業者です。創業以来、現場第一主義を貫き、安全で確かな品質の構築物を確かなり続けています。福利厚生や改善の取り組みも、社員一人ひとりに還元しています。

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-4-4
TEL 03-3377-4111
URL https://www.hokushin-cc.co.jp/

NEX NIPPON EXPRESS 日本通運株式会社

迅速・安全、高品質な物流を提供し、社会の発展を支える

●基幹事業 物流事業全般および関連事業
●設立 1937年(昭和12年)
●資本金 701億7,500万円
●従業員数 34,299人

注目のポイント
長期ビジョン「グローバル市場で存在感を持つロジスティクスカンパニー」の実現に向け、「社員が自ら考え、主体的に行動する自律人財の育成」をミッションに掲げ、社員能力開発を推進・支援するさまざまな取り組みを実施しています。

会社の強み・社風
日本全国に1,100拠点以上の支店・営業所、海外56カ国/地域に915拠点を超える当社では、陸・海・空のフィールドを網羅した輸送モードと国内・外への豊富な倉庫拠点を駆使し、消費者物流から企業物流まで、多様な物流サービスを提供しています。

〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町2
TEL 03-6284-6011
URL https://www.nittsu.co.jp/

高校生対象添削教材 書いて考える進路

大学進学希望者の試験対策に有効

生徒に身近な題材で、かつ300字という少ない字数から始めることができるため、文章を書くことが苦手な生徒であっても抵抗感なくスタートさせることができます。

※本教材は有料でご案内いたします。添削の有無や字数によって金額が変動するため、高校内での実施を希望する場合はお問い合わせください。

お問い合わせ
ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1706

ALSOK神奈川株式会社

お客様と社会の安全・安心のために

●基幹事業 事業所、工場、倉庫、商店、住宅、その他各種財産の警備の請負と保障
●設立 1987年(昭和62年)
●資本金 30,000,000円
●従業員数 540人

会社の強み・社風
当社は神奈川県内各所にあるコンサートホール、ショッピングモール、デパート、マンション等の施設で24時間365日、「安全」と「安心」を続けているのが特徴を提供しています。

〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-6-1みなとみらいセンタービル16F
TEL 045-226-0773
URL https://www.kanagawa.alsok.co.jp/

NHKニッパ 日本発条株式会社

ばねから広がるものづくり

●基幹事業 懸架ばね、自動車用シート、精密ばねなどの製造販売
●設立 1939年(昭和14年)
●資本金 170億957万円
●従業員数 5,197人

会社の強み・社風
当社はばねや金属加工の技術を活かしたさまざまな製品を世の中に提供し、世界トップクラスのシェアを誇るカーパーツの製造も手がけています。社風が特徴です。

〒236-0004 横浜市金沢区福浦3-10
TEL 045-786-9742
URL https://www.nhkspg.co.jp/

東海・北陸 寄宿舎「豊心寮」 商業高校の優位性

富山県立中央農業高等学校

専門高校ならではの「農業教育」の実践 生活リズムと学習習慣を確立する寄宿舎

富山県立中央農業高等学校(富山市、室井康志校長)は、農業や食、環境、生命の学びを通して社会貢献できる人材育成を目指している。集団生活を通して自主・協同・勤労の精神を涵養する寄宿舎「豊心寮」を設置しているのも大きな特徴の一つだろう。舎監を務める工藤貢太郎教諭を訪ね、具体的なお話をうかがった。

●県内農業教育の要

昭和33年、「富山県立富山通信産業高等学校」として開校後、昭和44年に文部科学省より「自営者養成農業高等学校」の指定を受け、現在の校名に改称。「自主・協同・勤労」の校訓のもと、令和7年に創立67年を迎えた長い歴史の中で、地域農業や畜産の担い手となる数多くの有為な人材を輩出してきた。

同校が設置するのは、「生物生産」「園芸デザイン」「バイオ技術」の3学科6コース。1年次は学科を決めず、全員が共通カリキュ

ムの中で農業に関する基礎的・基本的な知識と技術を修得する。2年次から、志望進路や適性などに合わせていずれかの学科を選択するという流れだ。

生物生産科では、品質と生産性向上を図る創造的かつ実践的な能力と態度を身につける。作物・野菜・家畜の食料供給および経営に関する分野の人材育成を目標に掲げる。

園芸デザイン科は、草花の生産や園芸デザイン、環境緑化などの特質に関する基礎的な知識と技能の修得を目指す。生活環境の改善

と専門性を活かした福祉に貢献できる能力と態度を醸成する。

バイオ技術科では、バイオテクノロジーを活用した生物生産および農産物の加工・流通分野で活躍できる人材を育成。高付加価値農業やバイオ関連産業、アグリビジネスといった多様な分野に進出できる人材を育成する。

●自立心と協調性を育む

「大地と自然 それが私たちの教室です。」をキャッチコピーに掲げる同校では、広大な敷地と豊かな自然環境に囲まれた学舎で「農業教育」「普通教育」「寄宿舎教育」を三本の柱として教育活動を推進する。

ここでは、寄宿舎教育に

ついて見ていこう。富山県下で唯一の寮「豊心寮」では、1年次の1学期間が「義務入寮」という形を取っており、全員が寮生活を送る。2学期以降は希望制で、現在は全校生徒の約8割が寮生活をしているという。

寮では平日の間、日中は学校で授業を受けた後は仲間と寝食を共にし、金曜日の放課後から土・日・祝日は自宅で過ごす。教員が日替わりで舎監として寮生の指導に当たるほか、2・3年次生が中心の「寮生会」という自治会によって自主的に生活の管理を行う。

生活時間が朝から晩まで細かく決められており、夕食後の夜8時30分から9時40分にかけての70分間を「学習時間」に設定している。これは、舎監の教員が見回りやチェックをする中で課題に取り組むというもの。一日70分間の学習時間を少しずつ積み重ね



富山県の農業教育を牽引する学校として有為な人材を多数輩出

たことで、学習習慣の確立につながったという生徒も少なくないようだ。

農業=力仕事というイメージを抱かれがちだが、技術革新が目覚ましい現代において、学び続けることの重要性は高まる一方だというのが、舎監長・工藤貢太郎教諭の持論だ。そのため、「寮生活では、規則正しい生活だけではなく、学習習慣も身につけて欲しいと考えています」と、学びの面にも心を砕く。

富山県立中央農業高校では今後も、専門高校ならではの農業教育と共に、豊心寮での寄宿舎教育を通して、豊かな人間性を備えた人材育成に注力していく。

愛知県立一宮商業高等学校

設置学科を再編して次の一手へ 地域連携から得る実践的な学び

愛知県立一宮商業高等学校(愛知県一宮市、朝日真二校長)は、昭和13年の創立以来、87年目を迎える伝統校で、校訓には「至誠一貫・質実和楽・感謝報恩」を掲げている。

進路指導部を訪ね、清水禄郎教諭に新たな学科編成や進路指導について話をうかがった。

●新たな学科編成が始動

愛知県立一宮商業高等学校は、令和5年度に設置学科を再編。迎えた令和7年度には創立87年目を数える県内有数の伝統校だ。

1年次は共通科目を履修し、一宮市に関する知識と

ビジネスの基礎的な力を身につけていく。地域と連携して学ぶ「総合的な探究の時間」を設け、多角的な視点から同市を中心とする地域理解を深めている。

2年次からは、それぞれの希望進路に沿って「ITビジネス科」と「地域ビジネス科」の2学科に分かれ、学習する。

「ITビジネス科」は、プログラミングやウェブサイト制作などを学習し、IT業界やDX化の進む現場で

主体的に行動できる人材育成を目指す。コンピューター実習の時間を多く確保し、プログラミングやコンテンツ制作、総合実践などの科目を加え、これからの時代に必要とされる論理的思考力の向上を図る。

また、IT業界で活躍する社会人のナマの声を聞くイベントやインターンシップなどを行うことで、卒業後の進路選択にも役立てている。

「地域ビジネス科」は、地域との協働による取り組みを通して、地域活性化やSDGs視点の課題を学習する。コミュニケーション力やマネジメント力、マーケ

ティング力を備え、地域の現場で活躍することができる人材を育成する。

同学科の特徴の一つが、企業や行政と連携し、体験的な学習の機会を多く設定していることだ。「観光」「フード」「スポーツ」「地場産業」「まちづくり」の五つのビジネス領域に分け、地域創生に関する学びを系統的に提供している。

●商業高校の企業連携の強み

例年、一宮商業高校では就職する生徒と進学する生徒がほぼ同数であるため、いずれかに偏ることなく就職と進学、双方に対応できる進路指導を展開する。

特に、商業高校という性質から就職に関する行事に力を入れている。

2年次の7月から10月にかけてインターンシップ

を行い、生徒の職業観を醸成。企業選びに活かして欲しいという想いから、校内だけではなく現場で学ぶ経験を大切にしている。5領域の学びによって、企業とのつながりができ、インターンシップの職種や体験に新たな広がりを見せているという。

今年度からは、市内の一宮商工会議所と連携協定を結び、地域を巻き込む「新たなインターンシップの形」を模索している。近年活発に行われている中学校の職場体験との差別化を図ることが狙いだという。

新たな学科編成と5領域の学びで、地域とより強固な連携を図る一宮商業高等学校。地域にとって有為な人材を輩出する学校として親しまれ、期待を寄せられている。



「一宮」と呼ばれ地域に愛される愛知県立一宮商業高校

OTA 太田商事株式会社

1655年(承応4年)創業の老舗企業

●基幹事業 建設資材、エネルギー、外食事業
●設立 1921年(大正10年)
●資本金 48,000,000円
●従業員数 270人

会社の強み・社風

当社は愛知県の西三河を中心にガソリンスタンド・コメダ珈琲を運営し、そのほかにも地域ムタイプの駐車場に根差したさまざまな事業を展開し取得制度も充実しています。ワンルー

〒448-0841 愛知県刈谷市南桜町1-73 OTAビル9F
TEL 0566-23-5811
URL https://www.ota-shoji.co.jp/

NX 日本通運株式会社

新しい、世界の流れを。

●基幹事業 自動車輸送、鉄道利用輸送、海上輸送、船舶利用輸送など
●設立 1937年(昭和12年)
●資本金 701億7,500万円
●従業員数 34,299人

会社の強み・社風

陸・海・空のフィールドを網羅した三つの輸送モードと国内・外の豊富な倉庫拠点を駆使して、消費者物流から企業物流まで、あらゆる物流を通して幅広く多彩な事業を展開。数ある物流企業の中でも「運ぶことへのこだわり」については、どこにも負けない自信があります。

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-16-21 名古屋三井物産ビル6F
TEL 052-561-2236
URL https://www.nittsu.co.jp/

フジパングループ本社 経

「本仕込」のフジパンです!

●基幹事業 パン・和洋菓子の製造と販売のほか、物流、パン製造直売店の運営など
●設立 1951年(昭和26年)
●資本金 46億8,200万円
●従業員数 約14,470人

会社の強み・社風

フジパングループでは、製パンのみではなく四つの事業を展開しています。「ホールセール」「リテイ」ビジネスを展開することで、常に変化す「デリカ」「ロジス」お客様のニーズに「テクス」グループ全体で多彩な食品をお応えしています。

〒467-8651 名古屋市中瑞穂区松園町1-150
TEL 052-831-5152
URL https://www.fujipan.co.jp/company/

マルマテクニカ 名古屋事業所

古き良きを守り新しさを創っていく

●基幹事業 建設機械の整備、建設機械および関連機器の製造・販売など
●設立 1946年(昭和21年)
●資本金 1億円
●従業員数 265人

会社の強み・社風

お客様のニーズに応え、利益につなげる技術者集団です。さまざまな分野を技術力で結び、ほかに真似できない強みを創り出すことが最大の特色です。本事業所は中

部、西日本地区を中心に、建設機械整備と特殊アタッチメントを製造しています。

〒485-0037 愛知県小牧市小針2-18
TEL 0568-77-3567
URL https://www.maruma.co.jp

愛知県三河地区・静岡県西部の高校生のための進路応援BOOK

令和8年度入学志望者用 2026 好評既刊!

将来、活躍を目指すフィールドを意識したキャリアを構築するために、有益な情報を幅広く掲載! 進学→就職の成功体験など、地元出身の先輩たちからのメッセージを含む学校情報等が充実しています。

▲最新刊(2026年度版)

巻頭特集 **「進学」&「就職」——進路展望**
ポストコロナの「進路環境」と「今後の日本社会」

本文特集 **愛知県三河地区・静岡県西部の高校生の進路事情**

お問い合わせ **ライセンスアカデミー**
〒169-0073 東京都新宿区百人町1-27-24
TEL 03-5925-1656

近畿・中国・四国 電子部品の加工企業 人の未来と社会に貢献

FCM株式会社 見えない部分で人々の生活を支える確かな部品製造技術 自己成長を通して地域社会と未来に対して貢献する

電子部品加工企業のFCM株式会社(本社・大阪市、川森晋治取締役社長)の拠点は、大阪市の工場だ。ここを中心に、人々が生活する上で欠かせないモノづくりに注力する。いつの時代においても顧客に期待される変化対応型企業であり続けることを目指している。管理部門総務課の八木政輝氏を訪ね、事業内容や特徴、魅力などについてうかがった。

暮らしを支えるモノづくり 常に変化・進化を求め続ける

FCM株式会社は、精微を極める素材加工を駆使して部品を生み出し、かつ社会に新しい技術を提案していく開発型の加工会社です。「導電機能材事業」と「電子機能材事業」という二つの事業とこれらに付随する「伸線」「めっき」「フィルム」という三つの事業領域を展開しています。

導電機能材事業は、昭和24年の創立から今日まで、社会基盤を支えてきました。事業内容の一つである伸線とは、銅やアルミなどの素材を伸ばして顧客が求める細さに加工することをいいます。主に電力線や通信線の電線用、金属加工品の非電線用など日常生活のあらゆる場面に提供されており、最大4,500トンの月産生産力を誇っています。品質や機動力、キメ細かい対応にも力を注いでいるため、伸線技術を活用した事業領域の拡大にも積極的に取り組み、着実にシェアを伸ばしてきました。

電子機能材事業とは、いわゆる高精細の表面処理業であるめっき加工とフィル



12種類のめっきを用途によって使い分けて適切な加工を施していく



管理部門総務課 八木政輝氏

ムの製造を指します。めっき加工は、素材の表面に金属の被膜をつくる加工技術をいいます。加工を施すことで防錆、光沢、はんだ付け性の向上、耐摩耗などさまざまな機能を付加することができます。これは、用途によってめっきの種類を変えています。

当社で加工された製品は、スマートフォン・自動車・医療機器・ロボット・海底ケーブルなどの部材として採用されています。決して目立つ存在ではありませんが、素材が本来備えていなかった機能を付加できる点において、めっき加工はなくてはならない「縁の下の力持ち」のような存在と言えるでしょう。

もう一つの技術、フィルムの製造は、薄くて柔らかい素材に高精細な回路を形成するもので、ベースとなるのはめっきの技術です。主な製造工法として、「Roll



めっき液の分析を行い製品が正しく加工されているか調べる

to Roll」という名の通り、ロール状で供給された素材を再びロールに巻き取りながら製造していくという連続的な生産方式を採用しています。

これにより、加工品質の安定とスムーズな量産への移行が可能で、医療機器や産業機器、タッチパネルなどに用いられています。

広範な部門で人材育成 成長は経験・学びと共に

当社では、「製造」「営業」「品質保証」「技術開発」「管理」の5部門で人材を求めています。いずれも経験や資格は不問です。工業系の学科を卒業して、これまで学んできた知識やスキルを活かして活躍している方はもちろんいますが、普通科や総合学科出身の社員も少なくありません。仮に、入社当初は知識がなくても、日々の経験の積み重ねや先輩社員のアドバイスのもとで学びながら成長できる環境になっています。

製造部門では、顧客から預かった材料を指定された条件のもと加工します。技術開発部門では新しい商品や工法の開発などに取り組みますが、開発に際して現在の製造を熟知している必要があるため、希望に応じて製造実習などを経験することもできる仕組みになっています。品質保証部門においては、良品を作り続けるために、製品検査やめっき液の分析等を行います。

勤務地は、大阪市内の本社工場のほか、京都工場(京都市)、富山工場(富山市)で、工場ごとに事業が異なる

本紙記者の目 柔軟な社風で社員の成長を支える

FCM株式会社では、社員の成長やチャンスの後押しする環境が整備されている。

例えば、もともと人事総務課に配属され、採用活動や総務の業務に従事していたある社員が、品質保証部に異動する機会があり、新たにキャリアをスタートさせていると聞く。また、本来は営業職志望の者が、そのプロセスとして、一度製造部署に携わってから目指すケースも珍しくないのだという。一つの会社の中に多様な部署が存在するからこそ、さまざまな経験をするのが可能となって自分自身がさらに成長できる環境が実現しているのは、FCMの大きな特徴の一つだろう。

技術開発部門に所属する社員一人は、入社して1年目にし大きなプロジェクトのリーダーに任命されたという。自ら実



意見などが通りやすいのも特長の一つ

験方法やスケジュールを考えてプロジェクトを動かすことが求められる分、実験が成功したり、初めての売り上げにつながったりすることがやりがいにつながったと述べた。

このように、一人ひとりのキャリアプランや考え方を、なによりもやる気を評価するのがFCM流なのだろう。個別社員が活躍できる柔軟かつフレキシブルな環境が心強い。自由な社風そのものが、社員の自信に直結していくFCM。今後のさらなる活躍に大きな期待が寄せられている。

ります。大阪工場ではめっき・フィルム、京都工場は伸線、富山工場ではめっき・伸線と分けられ、最近では、新規開発の量産ラインを富山工場に新設しました。

生まれ変わる新・製造業 技術を重視する社内文化

日本国内に四つの工場と二つの営業所を構える当社は平成30年、新たにフィリピン共和国に拠点を設けました。また、令和5年2月には、株式会社松尾製作所(本社愛知・大府市)グループの一員となり、取り巻く環境が大きく変わりつつあります。

しかしながら、基本理念の「私たちの強みは何か、私たちは何を指すのか」は一切変わることがありません。高品質・高精細・高付加価値の表面改質技術や

機能材を社会に提供しながら、技術を重視する企業として環境に配慮しつつ人の未来と社会に貢献することを目指していきます。

令和5年2月には、より高い電気伝導性と熱伝導性を併せ持つ物質「グラフェン」を使用した新しいめっき加工を開発しました。当社の独自製法によって耐摩耗性を46%向上させることに成功しました。さらには、環境負荷物質を使用していないため、環境に優しいのも特徴の一つです。

この新規開発品の成功を踏まえて、いま以上に新しい製造方法の開発を模索し、さらなる発展を目指していきます。支えるモノづくりが好きの方、モノづくりに興味がある方は、当社を選択肢の一つとして検討していただけたらとても嬉しく思います。

FCM株式会社

見えない部品が社会を支えるモノづくり、電子部品加工企業

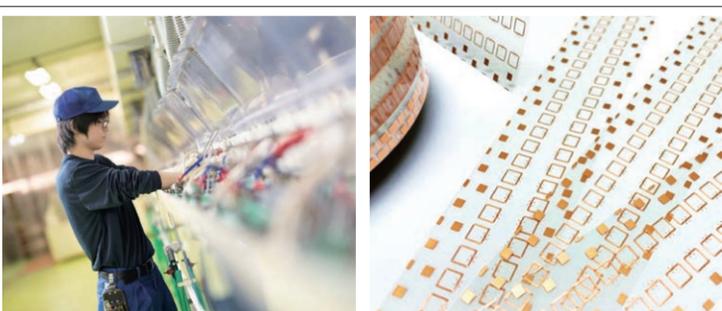
●基幹事業 電子部品の加工、電子機器用部品ならびに半導体用部材の製造および販売 など
●代表者 川森 晋治
●設立 1949年(昭和24年)
●資本金 1億円
●従業員数 345人

会社の強み・社風
当社は、携帯電話やゲーム機の中の部品、家の中に張り巡っている配線など表立って見えないけれど、普段みなさんが生活する上で必要不可欠な電子部品などの加工を行っている会社です。「支えるモノづくり」を通して、一緒に成長しませんか?

仕事紹介
業界をリードする 製品開発力、解析・分析力、加工技術

電線などの加工をする「伸線」、スマートフォンやハイブリッド車に搭載される精密部品に欠かせない「めっき」、そして数ミクロンの極薄フィルムを加工して新たな価値を生み出す「フィルム」。この三つの加工技術をベースに、当社ではお客様からお預かりした材料と指定された条件のもと加工を行います。特にめっき加工とは、材料の表面に金属の極薄フィルムを加工して新たな価値を生み出すなどさまざまな機能を付加することができます。

入社している先輩の中には工業系学科卒業の方だけではなく、普通科・総合学科出身の方も少なくありません。めっき等の知識がなくても日々の作業を通じて知識を取り入れ、経験と共に成長できる環境だと言えます。



問合せ 〒537-0003 大阪市東成区神路3-8-36
TEL 06-6975-1324 URL https://fc-m.co.jp/
E-mail fcm_recruiting@fc-m.co.jp

備考 [営業所] 東京営業所、名古屋営業所
[工場] 大阪・神路工場、深江北工場、富山工場、京都工場 など

高校生の確かな進路選びをサポートします!!

大学新聞社 ☎03-5925-1668

お問い合わせ

ライセンスアカデミー ☎03-5925-1656

仕事とキャリアデザインシリーズ

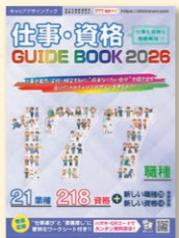
高校を卒業後、進学を果たしたとしても、最終的には多くの人が「働く」ことになるでしょう。「キャリアデザインシリーズ」は、就職までのプロセスはもちろん、将来のキャリアパスを切り拓いていく上で有用な資格や検定試験等に関する多様なトピックを提供し、働くことに対する意識づけを担います。



進路のてびき 就職・公務員編
■キャリアデザイン準備号
■就職活動スタート号
■就職活動大応援号



就職・仕事・資格・起業につながる学校



仕事・資格ガイド



仕事から見つける学校資料請求本

進路選択 & 専門学校の学びシリーズ

『アプローチマガジン』は、最終学年になる前の高校1・2年生向けに、高校卒業後の「進学」や「就職」など、さまざまな進路について整理したガイドブックです。『専門学校 進路のてびき』は、専門学校とその制度全般に関するA to Zを分かりやすくまとめています。



アプローチマガジン
■東日本版
■東海・北陸版
■近畿・中国・四国版
■九州・沖縄版



専門学校 進路のてびき
■北海道版 ■東北版
■東日本版 ■東海・北陸版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州・沖縄版



職業実践専門課程ガイドブック

大学入試合格応援シリーズ

志望校合格を目指す高校生のための進学情報誌です。『大学受験合格 GUIDE BOOK』の「春版」では、年頭に実施されたばかりの「大学入学共通テスト」の結果について、イチ早く誌上分析・解説を行い、「秋版」では、「憧れの大学」に進学を果たした現役大学生から寄せられた「進路サクセスストーリー」を紹介。各誌紙とも、個別大学・短期大学・専門学校等の最新情報と共に入試日程等もお届けします。



大学受験 合格 GUIDE BOOK (春版)



大学受験 合格 GUIDE BOOK (秋版)



総合型選抜 & AO入試 受験ガイド
■東日本版
■中部・西日本版



地方入試告知リーフレット
■北海道版 ■東北版
■関東・首都圏版 ■甲信越版
■東海4県版 ■北陸版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州版 ■沖縄版

『系統・分野別情報誌』シリーズ(7分冊)

高校卒業後の進学先を選ぶ上で重要な基準となる「好き」「興味」「してみたい」に焦点を当て、これに関連する多様なデータと共にニュース&トピックスおよびアウトラインを提示し、系統・分野、領域・ジャンル別の全7分冊に、分かりやすくかつ体系的に編集しています。



- No.1 食物、栄養、調理、製菓、生活、服飾、健康、スポーツ分野
- No.2 理容、美容、メイク、エステ、ネイル分野
- No.3 国際、経済、経営、法、公務員、ビジネス、語学、文学、教育、留学、ホテル、トラベル、エアライン分野
- No.4 芸術、音楽、造形、美術、デザイン、まんが、イラスト、アニメ分野
- No.5 理・工学、環境、情報、通信、機械、自動車、建築、農学、バイオテクノロジー(生命工学関連)分野
- No.6 看護、医療、福祉、保育、幼児教育分野
- No.7 動物、植物、バイオテクノロジー(農学関連)分野

大学・短期大学研究シリーズ

『大学・短大 進路のてびき』は、大学と短期大学の学びや入試・入学者選抜情報、学費の実際など、「受験生なら知っておくべき」基本情報やアウトラインを詳述。『大学探しBOOK』は、「学びたいこと」から進学先が絞り込めるように3分冊構成になっています。



大学・短大 進路のてびき
■東日本版
■中部・西日本版



学べることから見つける大学探しBOOK
①人文科学、社会科学、教養・総合科学
②理学、工学、農学、医療・保健 ③教育、芸術、家政・生活科学

保護者 & 教員、自力進学シリーズ

保護者世代に現代の高校生との対比を示す『保護者のみなさまへ』、進学資金に関する多様なヒントを伝える『自力進学 進学支援・学費サポートガイド』、また進路指導資料としての評価も高い『高校担任教諭必携進路指導ハンドブック』など、多様な視点から高校生の進路選択を考えていきます。



保護者のみなさまへ
■東日本版 ■中部・西日本版



自力進学 進学支援・学費サポートガイド



高校担任教諭必携 進路指導ハンドブック

高校生のための進路応援シリーズ「地域特集ガイド」等

各地域の地場産業や地域特性などから考える進路 & 進学情報誌です。地元の大学・短期大学・専門学校、また企業等の最新情報はもちろん、当該エリア・路線の交通機関 & 主要通学ルートなどをはじめ、進学事情や通学環境、労働市場や産業構造等も解説しています。



がんばれ! 青森県の高校生



がんばれ! 山梨県の高校生



長野県の 高校生のための進路応援BOOK



新潟県の 高校生のための進路応援BOOK



福井・石川・富山の 高校生のための進路応援BOOK



愛知県三河地区・静岡県西部の 高校生のための進路応援BOOK



中国・四国地方の 高校生のための進路応援BOOK



沖縄県の 高校生のための進路応援BOOK

イベントガイドシリーズ

『進路相談会徹底活用ガイドブック』では、会場形式相談会の概要を示しています。また、『見学会のてびき』は、企業または大学・短期大学・専門学校など、各種見学会参加時に活用効果が高いハンドブックです。『オープンキャンパスBOOK』は、各校のオープンイベントを特集した進学情報誌です。



進路相談会徹底活用ガイドブック
■東日本版
■中部・西日本版



見学会のてびき
■北海道版 ■東日本版
■近畿版 ■中国・四国版
■九州・沖縄版



オープンキャンパスBOOK
■北海道・東北版 ■東日本版
■中部版 ■北陸版
■近畿・中国・四国版 ■九州・沖縄版

その他多彩なラインナップ

令和4年度からの新しい教育課程に盛り込まれた「総合的な探究の時間」を念頭に置いた『探究への導き』をはじめ、看護・医療系学校や外国人留学生等、ある特定のテーマやトピックスに絞ったガイドブックなど、非常に多彩な視点とユニークな切り口が好評です。



「探究」への導き



医療系学校 入試データ



日本留学データ



Global Education



フューチャーライブガイド
■東日本版
■中部・西日本版

*上記のほかにも豊富に取り揃えています。また、新年版の発行や、統合・合本化等に当たり、名称や編集内容が変更となる場合などがあるほか、年度によって発行されない場合があります。詳しくは、大学新聞社(☎03-5925-1668)またはライセンスアカデミー(☎03-5925-1656)までお問い合わせください。

九州・沖縄 DAIKO水車プロジェクト ブラザーシスター制度

大分県立大分工業高等学校 通学路の夜道を再生可能エネルギーで照らす 地元企業や大学と連携して進めた水車開発

「正確・勤勉・健康」を校訓に掲げ、AIやIoTの先端技術の急速な発展やグローバル化など、変化を続けていく社会で「生き抜く力」を身につけさせるのが、大分県立大分工業高等学校（大分市、江口哲治校長）だ。同校のDAIKO水車プロジェクトの取り組みに迫る。

大分工業高校は「機械科」「電気科」「電子科」「建築科」「土木科」「工業化学科」という6学科の専門性と探究的な学びを活かしたモノづくりによる人づくり教育に注力している。県内の産業界や高等教育機関、行政等と連携した高度な専門的知識や技術の習得により、未来を拓く工業人材に必要な力を醸成する。

令和4年4月以降、同校は、「DAIKO水車プロジェクト」に取り組んでいる。地域通学路の夜道が暗く危ない目に遭った女子高校生のニュースを見たことをきっかけに、防犯灯の設置を思いついた。脱炭素を目指す同校は、防犯灯に必要な

電力を近くの河川から得られた再生可能エネルギーでまかなうことに挑戦する決意を固めたという。

水車の作成は、地元企業や大学と連携して設計ソフトウェアの3D-CADを使用。設計図をもとにSDGsの観点から、工場の廃材や学校裏山の竹を利用して、環境負担がかからないように水車を完成させた。

完成後は、現地実験を何度も重ね改良を繰り返したという。災害時を想定し、川に近づくことができない場合でも電力を確保できるように水路や雨どいの水流で発電可能な携帯型水車も開発した。実用性を向上させるため、携帯型水車はランドセルのように背負うことが可能な形状にし、特許の取得に至った。

地元企業や大学と連携しながら、実際の通学路に防犯灯を設置できるように、現在も製作改良中とのこと



発電量の試験でスマートフォン1台分の充電が可能となった

で地域住民からの信頼も厚くなった。携帯型水車は設計図を公開し、全国的な普及を目指しているという。電気を使わない水車による発電は、災害時などの一時的な利用はもちろん、日常的な使用も想定している。

当面の目標として、水車を使った電力で防犯灯を照らし、公園を設置することで地域住民が安心して過ごせる環境の提供を掲げる。また、活動は国内にとどまらず、ケニアの無電化地域での活用も目指す。発電技術が未発達とされるケニア現地で子どもたちが夜間でも勉強ができるように、企業や大学と連携し、現地での水車の実用性を高めていきたいという。多くの人々に環境保全の重要性を伝導する同校の今後の活動に注目と期待が集まる。



水の流れの調査のため現地周辺の川を訪れた生徒

社会福祉法人 報謝会 充実した教育体制 習熟度に応じた支援

社会福祉法人報謝会（宮崎県西諸県郡高原町）の設立は平成5年。「福祉を通じて、万物の幸福に、貢献し続ける」を理念に掲げている。

報謝会は、新入職員のサポートに力を入れており、未経験でも安心の体制で仕事に取り組むことのできる「ブラザーシスター制度」を導入。介護系資格取得支援の一環として、「初任者研修」と「実務者研修」の養成校を運営している。ITと奨学金制度で働きながら無理のない資格取得を目指すことができるのだという。そのほか、「抱えない介護」の取り組みとして「ノーリフトケア研修」や同じ立場で研修し、共に学び成長ができる「内部研修」も充実している。

初任者研修は、ホームヘルパー2級の後継資格で、介護を学ぶすべての人の入門となるスタート資格だ。ここでは介護の基礎から応用までを学ぶ。実務者研修は、「介護福祉士国家試験」を実務経験ルートで受験す



一人ひとりに合わせた教育制度で「輝く自分に出会う」を応援する報謝会

るため、介護の実務経験3年と併せて修了が義務づけられた研修だ。

実際に1年間のブラザーシスター制度を始めてからは、1年未満に退職する新卒入職者はほとんどいなくなった。国家資格を取得するまでは一人ひとりに寄り添った教育体制があるからなのだろう、3年目までは退職する人が少ない。

職場の定着率向上のために新しい制度を取り入れる動きも見られるほか、直接相談がしにくい職員のためにLINEの相談窓口を設けている。

報謝会では、介護系資格の等級などによって必要な研修とサポートが提供される教育体制が整っている。将来のリーダーとして活躍できる人材の育成に注力していく。

日鉄環境エネルギーソリューション株式会社

「限りある資源を未来につなげる」

●基幹事業 廃棄物の処理施設・資源化施設などの環境施設の運営

●設立 1994年(平成6年)

●資本金 50,000,000円

●従業員数 約2,000人

●社長の強み・社風
限りある資源を未来へつなぐために、資源循環のしくみをつくり、持続可能な社会を実現することを目指しています。工場の教育体制のもと、業系出身の方はもちろんのこと、文系出身の方も当社の充実した教育体制のもと、資格取得やスキル向上に励んでいます。

〒804-0002 北九州戸畑区大字中原46-59
TEL 093-588-7361
URL https://www.nses.nipponsteel.com

NEX NIPPON 日本通運 Westカンパニー統括部

新しい、世界の流れを。

●基幹事業 自動車輸送・鉄道利用輸送・海上輸送・物流事業全般および関連事業

●設立 1937年(昭和12年)

●資本金 701億75,000,000円

●従業員数 34,299人

●社長の強み・社風
私たち日本通運は、お客様のニーズに合わせた迅速かつ安全で高品質な物流を提供することを大切にしています。物流を通して人と企業、地域を結び、社会の発展に貢献できることがやりがいであり、多くの方に信頼されることを誇りに行動しています。

〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-1 日通ビル7F
TEL 092-291-7112
URL https://www.nittsu.co.jp/

株式会社マルキョウ

地域のみなさまの食生活を支援しています

●基幹事業 スーパーマーケットの経営

●設立 1964年(昭和39年)

●資本金 59億9,620万円

●従業員数 4,700人

●社長の強み・社風
北部九州を中心に82店舗を展開している地域密着型の食品専門スーパーマーケットです。仕入れ、加工、陳列、接客等の店舗業務に関することが主な仕事で、お客様に喜んでいただくことで地域の食生活を支援しています。独自開発(家賃全額会社負担)、18時完全退社、奨学金返還制度も実施しています。

〒816-0922 福岡県大野城市山田5-3-1
TEL 092-501-8448
URL https://www.marukyo-web.co.jp

株式会社ヤマサキ

最高の技術で社会に貢献

●基幹事業 プラント・エンジニアリング、鉄鋼設備・設備工事関連 など

●設立 1969年(昭和44年)

●資本金 45,000,000円

●従業員数 583人

●社長の強み・社風
当社は、鉄を生み出すための設備を造る「築炉」という事業を行っています。ミリ単位の精度で数千枚のレンガを積み、明治8年の創業から続くこの技術で、金属の高温に耐えられる設備を「当たり前」を支え、今を築き上げる仕事です。後も社会に貢献します。

〒837-0911 福岡県大牟田市大字橋11
TEL 0944-58-1366
URL https://www.yamasaki-grp.co.jp/

ワタキューセイモア株式会社九州支店

医療・観光業界を支える縁の下の力持ち

●基幹事業 医療用器具等の販売・医療用業務用品の販売・客室備品マネジメント

●設立 1962年(昭和37年)

●資本金 48,500,000円

●従業員数 19,370人

●社長の強み・社風
当社は、病院・介護施設およびホテルでシェアトップクラスの寝具リース事業を展開しています。社生活に満足していただいています。感謝の気持ちと謙虚な姿勢が年間休日122日などモチベーションです。

〒845-8506 佐賀県小城市小島町227-2
TEL 0952-72-5111
URL https://www.watakyu.co.jp/corporate/gaiyo

沖縄県の高校生のための進路応援BOOK 2026

沖縄県の高校生に最新の進路情報を!

●巻頭特集
沖縄県から未来へ羽ばたこう!!
先輩たちの進学・就職成功体験談

●沖縄県内高校生の就職事情・採用環境
「沖縄県の仕事」再発見

▲好評既刊(2025年度版)
沖縄県内の高校生の進路事情と共に、沖縄からの進学者を大歓迎する注目の学校や高校新卒就職志望者のスケジュールなどを紹介。希望の進路を実現した先輩からのメッセージなど、沖縄県に在住する高校生のみならず、必読のエリア別進路情報誌です。

お問い合わせ ライセンスアカデミー
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
TEL 03-5925-1656

三菱重工業株式会社(長崎)

陸、海、空、そして宇宙へ

●基幹事業 エナジー・プラント・インフラ・物流・冷熱・航空・防衛・宇宙など

●設立 1950年(昭和25年)

●資本金 2,656億円

●従業員数 連結:77,778人 単独:22,375人

●社長の強み・社風
当社は、「自ら社会やお客様の課題やニーズを見つけて出し、価値を提供する」企業です。モノをつくるだけではなく、使うことによって得られる付加価値をいかに提供できるか。技術や複数の事業を横断的に組み合わせ、提供できるソリューションの幅を広げています。

〒850-8610 長崎県佐賀市の浦町1-1
TEL 095-828-4121
URL https://www.mhi.com/jp

沖縄綿久寝具株式会社

健康と快適の明日を考える

●基幹事業 病院や福祉施設寝具のリースおよび洗濯・ホテルリネン全般

●設立 1971年(昭和46年)

●資本金 20,000,000円

●従業員数 760人

●社長の強み・社風
当社は、沖縄県下5つのクリーニング工場を拠点としリネンサプライ事業を展開しています。全島を網羅するサプライで高品質かつ安定したサービスを確立し、郷土を代表するリネンサプライ企業として多様な施設へ健康と快適さををお届けします。

〒901-2205 沖縄県宜野湾市赤道1-8-5
TEL 098-892-1121
URL https://o-watakyu.jp/

キャリア & 就職支援ジャーナル 第74号

高等学校版 高校の先生方への進路による紙面編集

大学新聞社

発行日 ●令和7年5月31日
発行人 ●白田 康則
編集人 ●川 窪 達也
取材・執筆 ●福集
加藤 陽一 鬼頭 葵
田中めぐみ 川井仁美
永島みのり 島崎八枝 森田 菜
小笠 碧月 小山内 暢子
紙面デザイン&DTP制作 ●三井加洋子 寺戸 愛華

●ご意見・ご感想をお寄せください
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-17-24
編集 ☎ 03-5925-1668 営業 ☎ 03-5925-1705
E-mail info@daigakushinbun.com
URL https://daigakushinbun.com/

*本紙の記事・写真、および図版等の無断転載、複製、複写、翻訳を禁じます。[V-3330.361525#]
©大学新聞社 2025 Printed in Japan

ベトナムの教育トピックス vol.7

多様な分野でベトナムとの人的交流が深化

現地の高等学校等で開催！「日本留学フェア in ベトナム」が好評

フランスパンにハムやなますなどを挟んだファストフード「バイン・ミー」をはじめ、米粉でできた平麺と牛・鶏スープの「フォー」や、タピオカ・フルーツ入りのぜんざいとかき氷のような味味のデザート「チェー」など、フランスや中国の影響を受けつつも独自の食文化が発展するベトナム社会主義共和国。本稿では、ベトナムの教育制度や日本の高校生との交流の取り組みをお伝えすると共に、2月21・22日にホーチミン・ハノイの2都市で開催された「日本留学フェア in ベトナム」の様子を報告する。

「越」は阮王朝の「越南」に由来 技能実習制度との深い関わり

日本におけるベトナムの漢字表記は「越南」。「越国南方の地」を意味する。19世紀の初め、阮王朝が全土を統一し、「越南」と称したことがその由来と伝わる。日本は江戸時代後期の文化・文政年間の頃だ。ベトナム語の単語の多くは漢字をベトナム式に読み下したもので、日本語の「音読み」に近いとされている。

国際交流基金(本部東京・新宿区)によると、ベトナムの教育制度は小学校5年間、中学校4年間、高等学校3年間の「5-4-3制」だという。義務教育は小・中学校の9年間。公用語はベトナム語だ。

同基金が2023年3月31日に公開した『2021年度

海外日本語教育機関調査報告書』によると、21年度時点のベトナムの日本語学習者数は16万9,582人。18年度実施の前回調査と比較して4,939人(2.8%)減少したが、世界の国・地域別で第6位を維持した。

ベトナムにおける日本語教育事情の特徴として、他国と比べても、日本での技能実習・研修の予備教育として日本語を学習する者が多い点が挙げられる。実際に、日本の出入国在留管理庁が3月14日に公表した「令和6年末現在における在留外国人数について」によると、24年末現在でベトナム国籍を有する在留外国人63万4,361人のうち、「技能実習」の在留資格を持つ者は21万2,141人で、33.4%を占めた。これは、技能実習生として訪日・在

留するベトナム人が突出して多いことを裏づけている。日本では「技能実習制度」を発展的に解消した「育成就労制度」を創設することが決まり、その影響が最も大きい国・地域の一つと言えることができるだろう。

茨城県八千代町の交流事業 高校生らがラックスオン県へ

高校生を中心とする日本とベトナムの交流に関する直近の注目トピックスとして、去る3月26～31日の期間中、茨城県結城郡八千代町に在住する高校生5人と大学生3人がベトナムのラムドン省ラックスオン県とホーチミン市へ派遣されたことを紹介したい。

これは、八千代町の令和6年度「八千代町青少年海外派遣事業」の一環として実施したもの。八千代町の友好都市であるラムドン省ラックスオン県の学生との交流を通して相互理解を深め、友好親善の礎となることを目的とする。

3月26日、現地のリエクオン国際空港(ベトナム・ラムドン省)に到着した派遣団の一行は、翌27日にはダラット大学(同)の日本語学科の学生と交流。さらに28日にはランビヤン高等学校(同)での授業体験に参加し、ベトナム現地の高校生と親睦を深めた。このほか、ラムドン省クーラン村での少数民族文化体験やホーチミン市内の戦争証跡博物館の見学等を通して、知見を広げた。

最終日の31日には、タンソンニャット国際空港(ベトナム・ホーチミン市)を立ち、八千代町役場に戻った。なお、八千代町では令和7年度「八千代町青少年海外派遣事業」の参加者を6月30日まで募集中だ。募集要項を確認して欲しい。

舞台はホーチミン市・ハノイ市 対面式校内ガイダンスを開催

進路情報研究センター・ライセンスアカデミー(本社東京・新宿区)は2月

2/21 ホーチミン市内で校内ガイダンス



将来の日本就職を見据えて、日本留学を目指す学生が多く来場した



1・2年次の生徒から日本留学に関する質問が寄せられた

2/22 ハノイ市内で校内ガイダンス



3年次の生徒800人が来場し、日本語学校等のブースは賑わいを見せた



早期の日本就職を希望する者も含め、3年次の生徒700人が参加した

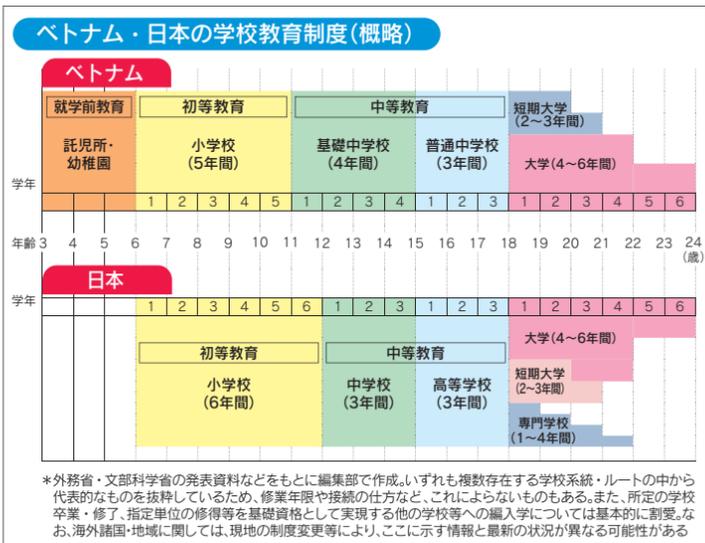
21・22日、ベトナム現地の日本留学希望者を対象とする「日本留学フェア in ベトナム」を開催した。今回は、現地の教育機関でそれぞれ校内ガイダンスを行う形式となった。

初日となった2月21日、ベトナム・アメリカン短期大学(American Polytechnic College、ベトナム・ホーチミン市)で実施した校内ガイダンスには、留学希望の学生32人が参加した。主にグラフィックデザインを学ぶ学生が来場。特に、日本での就労に向けたビザの取得やキャリアパスに関する質問が多く投げかけられた。舞台を、スオン・ヴァン・ティ高等学校(Duong Van Thy High School、同)に移して行われた校内ガイダンスには、同校の1・2年次の生徒22人が足を運んだ。日本語学校などの参加校と来場者との交流会では、各校が約20分間の持ち時間で、プレゼンテーションを行った後、質疑応答の場を設けた。日本語能力試験(JLPT)や日本との国際交流に関する質問などがあった。

翌22日にチャン・フー高等学校(Tran Phu High School、ベトナム・ハノイ市)で開催した校内ガイダンスには、3年次の生徒800人の来場があった。同校が主催する校内ガイダンス「キャリアフェア」で日本留学に関するブースを設置し、個別相談に応じた。ブースには日本の大学進学を希望する者が多数詰めかけた。特に、東京や大阪などの都市圏内の大学に、関心が集まったようだ。

その後、やはりハノイ市にあるドンヒー高等学校(Dong Hy High School)の「はし留学センター」で開かれた校内ガイダンスには、3年次の生徒700人が来訪した。日本語学校などの参加校がそれぞれ約20分間のプレゼンテーションを披露し、生徒との個別相談を行った。同校には地方出身の生徒が多く、早期に日本で働くことを目指す者が多かった背景もある。

ラ社は本年9月18～20日にも、ベトナムのハノイ市・フエ市・ホーチミン市で「日本留学フェア」を開催予定だ。



技能実習制度 外国人技能実習制度は国際貢献のため、開発途上国等の外国人材を日本で最長5年間受け入れ、OJTを通じて技能を移転するという趣旨の制度で、平成5(1993)年に創設された。令和6(2024)年末現在、日本全国に45万6,595人の外国人技能実習生が在留し、国籍・地域別の受け入れ人数はベトナムが21万2,141人(構成比46.5%)で最多だった。ただし同制度は、その実態として低賃金や雇用主の不当な行為の横行など、労働搾取ではないかと問題点が指摘され続けてきた。それがごく少数であって